

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第2週 > インフルエンザの定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-8

< インフルエンザ > 第2週の定点当たり報告数は全国レベルで13.9となり、前週のほぼ2倍となった
< 最近約4カ月間におけるコレラの発生動向 - フィリピンを推定感染地域とする報告の増加 - >



病原体情報
P.9-12

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン



速報
P.13-16

急性脳炎(2003年11月5日～2005年10月27日報告分)



海外感染症情報
P.17-19

トルコでの鳥インフルエンザ流行状況 / 中国での鳥インフルエンザ流行状況 / 南アフリカ(Free State州)でのクリミア・コンゴ出血熱



感染症の話
P.20

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(2週)
P.21-27



2週のデータ
P.28-39



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第2週コメント > 1月18日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 細菌性赤痢 10例

(推定感染地域: 国内2例、インド4例、インドネシア1例、ネパール1例、シンガポール/イギリス1例、その他1例)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 9例(うち有症者8例)

血清型・毒素型: O157 VT2(2例)、O26 VT1(2例)、O111 VT1・VT2(1例)、O145 VT1(1例)、O157 VT1・VT2(1例)、その他(2例)

4類感染症: オウム病 1例(推定感染源: ムクドリ)

レジオネラ症 3例(50代1例、60代1例、70代1例)

E型肝炎 1例(推定感染地域: バングラデシュ)

A型肝炎 6例(推定感染地域: 国内5例、不明1例)

5類感染症: アメーバ赤痢 4例

推定感染地域: 国内2例、インドネシア2例

推定感染経路: 経口3例、性的接触(同性間)1例

ウイルス性肝炎 1例(B型__推定感染経路: 性的接触(異性間))

クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性)

後天性免疫不全症候群 6例(無症候2例、AIDS 4例)

推定感染経路: 性的接触3例(異性間1例、同性間2例)

静注薬物使用1例、不明2例

推定感染地域: 国内2例、インドネシア1例、台湾1例、不明2例

髄膜炎菌性髄膜炎 1例(推定感染地域: 国内)

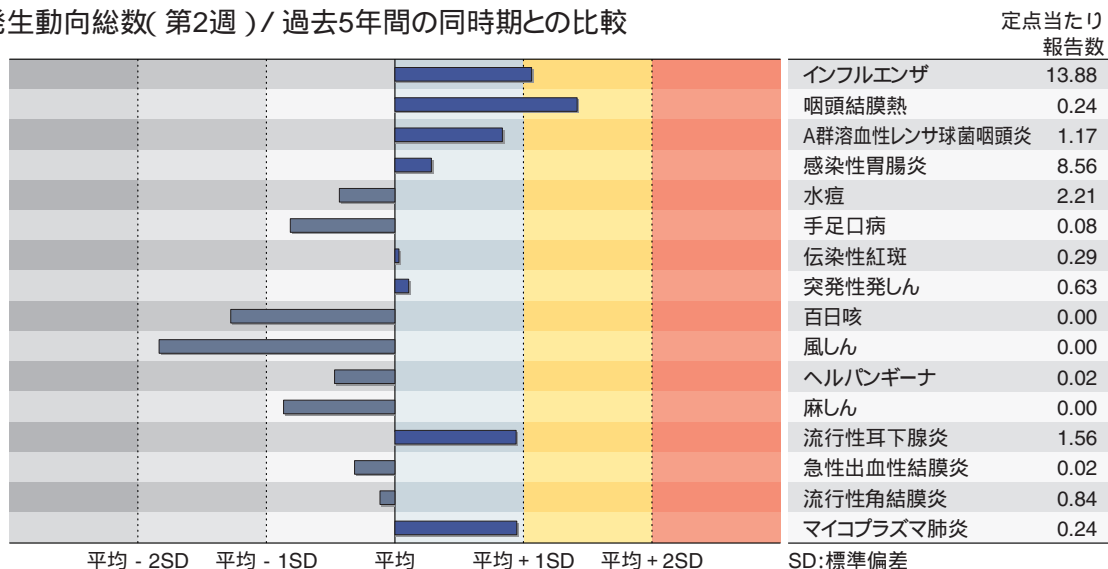
梅毒 6例(早期顕症I期2例、早期顕症II期2例、晩期顕症1例、無症候1例)

(補)他に、ウイルス性肝炎1例の報告があったが、削除予定。また、2005年分の報告遅れとして、細菌性赤痢1例(推定感染地域: インド)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(遺伝子型: VanA 1例__菌検出検体: 尿、VanC 1例__菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 尿)などの報告があり、2006年分の報告遅れとして、細菌性赤痢1例(推定感染地域: ミャンマー)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第2週)/過去5年間の同時期との比較



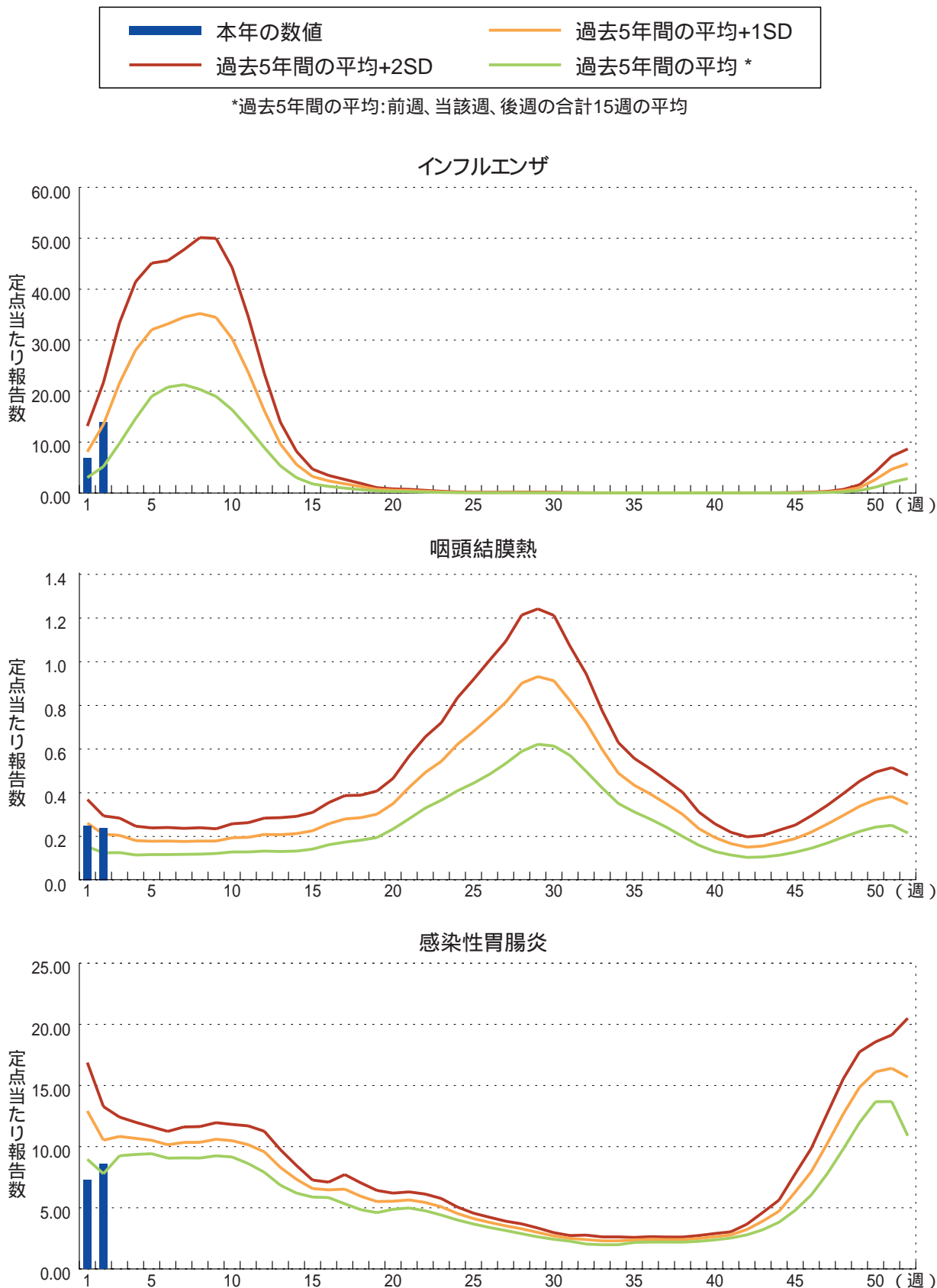
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第45週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(53.4)、福岡県(35.4)、佐賀県(31.0)、鹿児島県(30.7)、岡山県(26.9)、香川県(24.8)、山口県(23.7)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では佐賀県(1.04)、福井県(0.95)、岐阜県(0.81)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(2.6)、石川県(2.6)、鳥取県(2.3)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では愛媛県(19.3)、福井県(16.1)、大分県(14.7)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では石川県(3.9)、熊本県(3.9)、兵庫県(3.6)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岐阜県(0.23)、愛知県(0.23)、鹿児島県(0.23)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では島根県(2.1)、青森県(1.1)、福島県(1.0)、熊本県(1.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では広島県(0.03)、宮城県(0.02)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では島根県(0.04)、奈良県(0.03)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岡山県(0.02)、埼玉県(0.01)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では沖縄県(5.6)、長野県(4.7)、鳥取県(4.7)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて40都道府県から805例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約84%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福島県(1.6)、岡山県(1.2)、秋田県(1.0)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第2週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

第2週のインフルエンザの定点当たり報告数は全国レベルで13.9(報告数65,078)となり、前週のほぼ2倍となった(図1)。都道府県別では宮崎県(53.4)、福岡県(35.4)、佐賀県(31.0)、鹿児島県(30.7)、岡山県(26.9)、香川県(24.8)、山口県(23.7)、熊本県(23.0)、静岡県(22.5)、鳥取県(22.4)が多い。定点当たり報告数が20.0を超えているのは12県あり、その殆どが西日本に位置しているが、特に九州地域での報告数の増加が目立つ(図2)。

管内の定点当たり報告数が注意報レベルのみを超えているのは231保健所(43都道府県)とさらに増加し、警報レベルを超えているのは58保健所(静岡県以西の15府県)となっている(感染症情報センターホームページ「インフルエンザ流行レベルマップ」第2週参照)。

2005年第36週から2006年第2週までの、今シーズンの累積患者報告数は190,224であるが、年齢別でみると4歳以下が52,193人(27.4%)、5～9歳が42,772人(22.5%)であり、14歳以下が全体の約60%を占めている(図3)。

インフルエンザウイルスの分離については、今シーズンは第36週以降これまでに436件の報告があり、そのうちAH1型は76件(17.4%)、AH3型は357件(81.9%)、B型は3件(0.7%)であった(図4)。これまでのところ、分離報告の殆ど(99.3%)がA型であり、その多くがAH3型である。

1995/96年シーズンから2004/05年シーズンまでの過去10シーズンでは、定点当たり報告数のピークは全て第4週以降(第4週4回、第5週3回)であった。今後、インフルエンザの流行は本格化してくるものと予想され、その発生動向の推移にはさらなる注意が必要である。

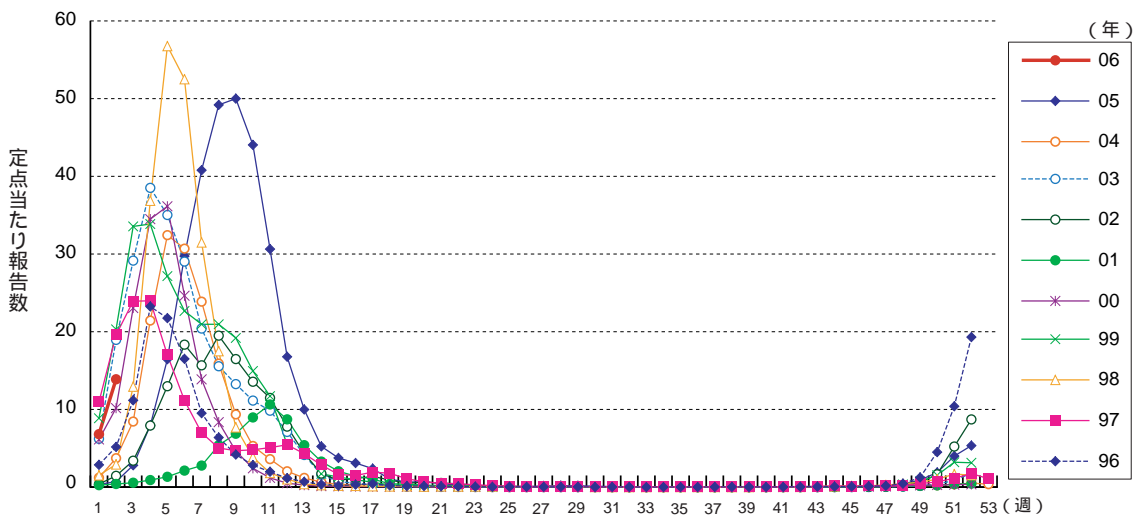


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1996～2006年第2週)

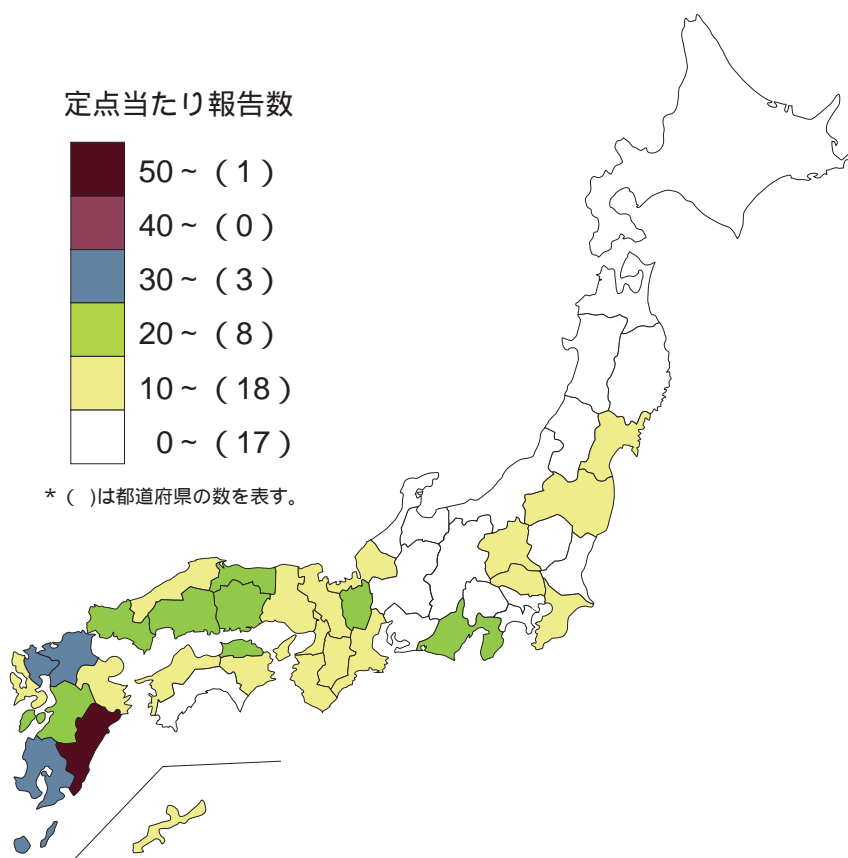


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況 (第2週)

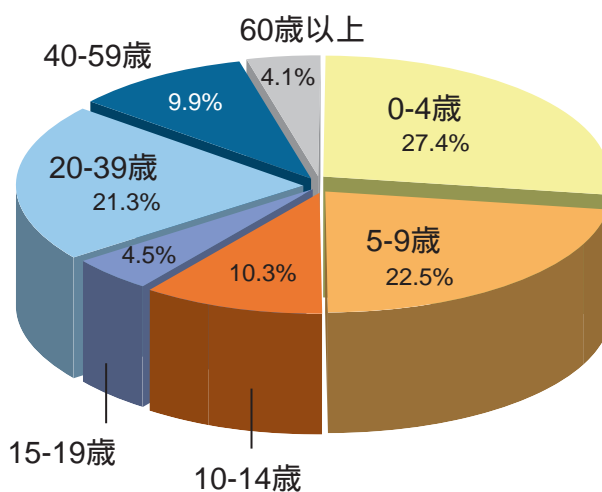


図3 . 2005/06シーズンにおけるインフルエンザの報告症例の年齢別割合 (2005年第36週～2006年第2週)

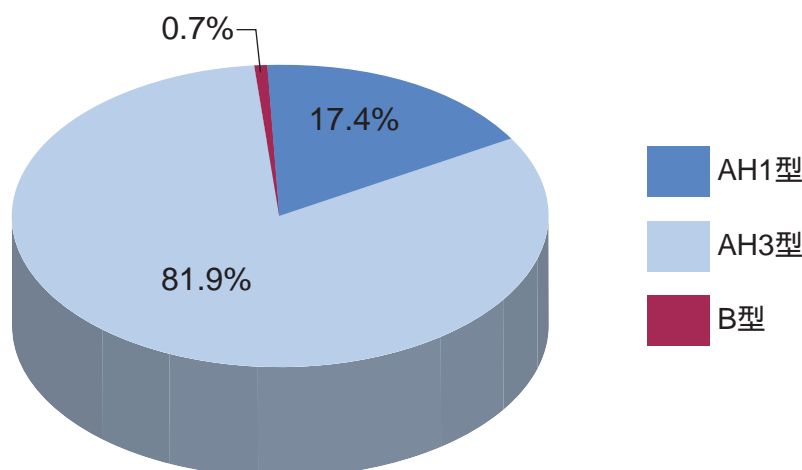


図4. 2005/06シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離結果
(2005年第36週～2006年第2週)

最近約4カ月間におけるコレラの発生動向 フィリピンを推定感染地域とする報告の増加

感染症法に基づく発生動向調査においては、推定感染地域の記載も求められている。2005年のコレラの報告で推定感染地域がフィリピンであったのは、第34週までに2例のみであったが、第35週以降多くなっている。

2005年第35週～2006年第2週(8月29日～1月15日)の診断分として報告されたコレラ症例のうち、疑似症を除いた菌およびコレラ毒素陽性のものは24例(男性20名、女性4名)であった。それらの発症期日を週別の時系列に示す(図)。年齢の中央値は56.5歳(範囲21～83)であった。症状については無症状者が1例認められたが、それを除く23例についてみると、下痢100%(水様性下痢35%)、嘔吐17%、腹痛13%であり、急性腎不全も4%に認められた。推定感染地域はフィリピン17例、インド2例、パキスタン1例、国内4例であった。菌の生物型については92%がエルトル型であり、残りは未検査であった。また、血清型が小川型であるものが92%、稲葉型が8%であった。

2005年第38週(9月19～25日)には、フィリピンからの帰国者に5名の集積が認められた。この構成は、2名ずつの2グループと単独行動の1名であった。グループ間、あるいは各グループとそれ以外の1名との間で、相互に疫学的関連は認められなかった。

コレラは病原体に汚染された水、または食品を介して感染する。海外、特に流行地域へ渡航する際には、生水を飲んだり、生または十分に加熱していない魚介類の喫食を避けるなどの注意が必要である。

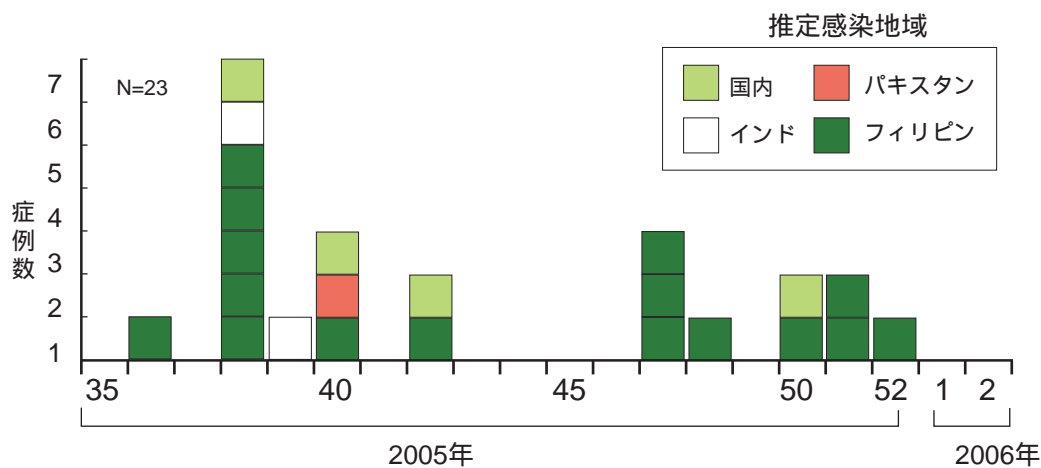


図. コレラ報告症例(有症状者)における発症期日(2005年第35週～2006年第2週の診断分)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2006年1月20日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

今シーズンは前シーズンに比べ、ウイルス分離報告の立ち上がりが早い。

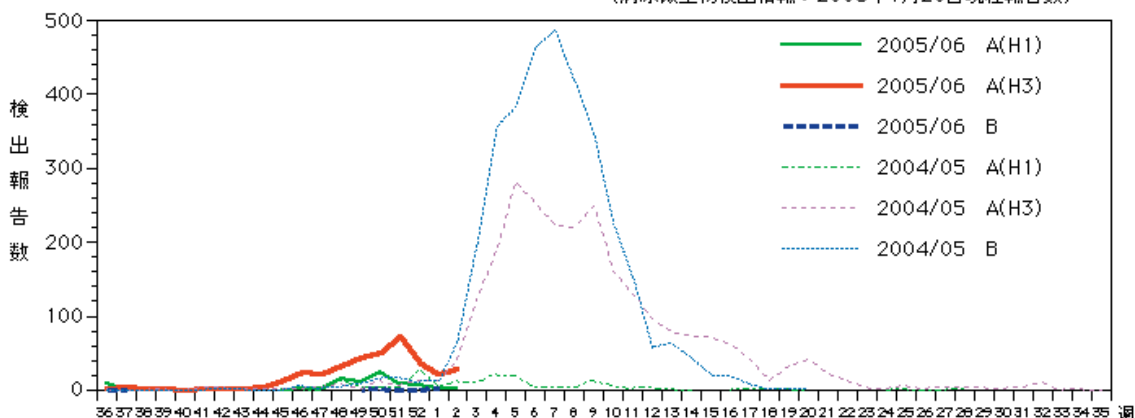
AH3型は第36～44週に計17件の分離が報告されたあと、第45週以降、全国各地からの報告が増加しており、第36週からの累計では、34道府県から計357件の分離が報告されている(この他、PCRで東京都2件、山形県、佐賀県各1件検出)。

AH1型は第36週に東京都で2件の分離(この他、PCRで6件検出)が報告されたあと、第46週以降報告が続いており、第36週からの累計では14都府県から76件が報告されている。

B型は第50週に神奈川県と大阪府から各1件、第1週に大阪府から1件、計3件の分離が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離 - 検出報告数の推移、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報: 2006年1月20日現在報告数)



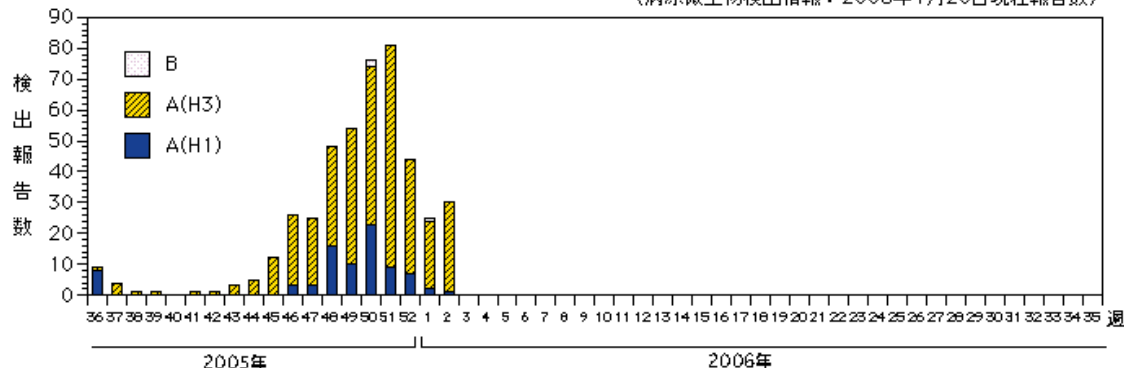
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離 - 検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報: 2006年1月20日現在報告数)



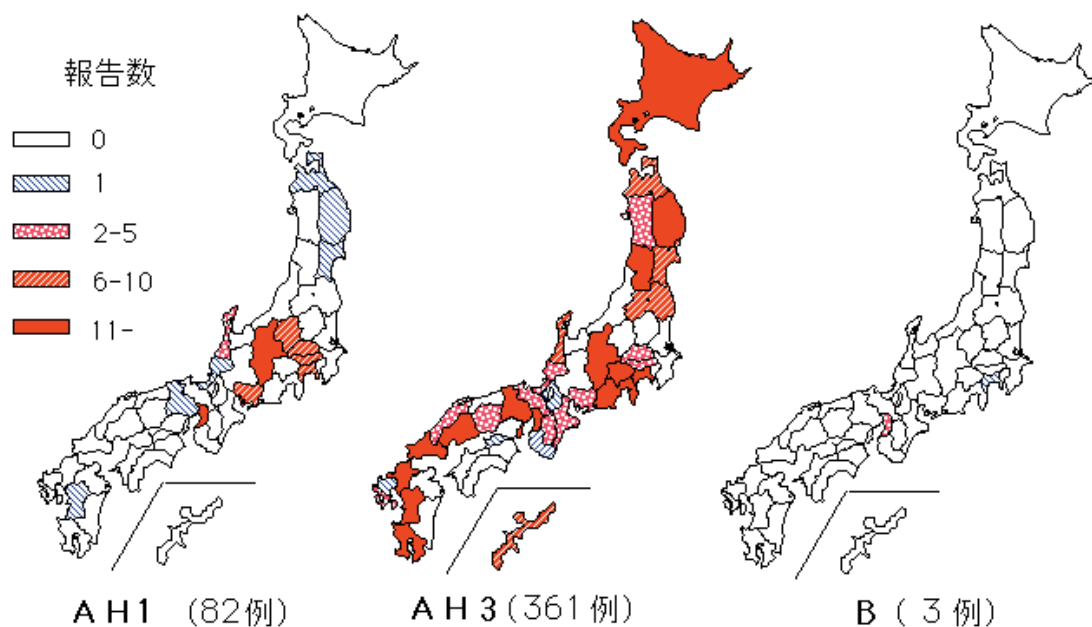
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離／検出報告状況、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年1月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。



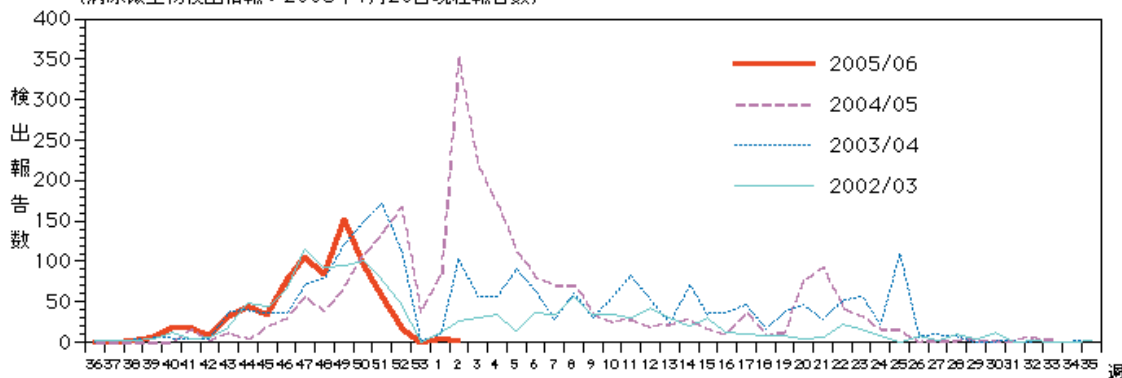
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン

ノロウイルスgenogroup IIの検出が増加しており、第37～2週に岩手県98件、大阪府96件、秋田県80件、滋賀県75件など、29府県から計686件報告されている。また、genogroup Iの検出が愛媛県12件、大分県、香川県各2件、秋田県、新潟県、静岡県、大阪府、島根県各1件、計21件報告されている。この他、genogroup unknownの検出が東京都25件、奈良県8件、計33件報告されている。

サポウイルスは第46～52週に愛媛県で12件、熊本県で5件、宮城県で2件、三重県、大阪府各1件、計21件検出され、A群ロタウイルスは第43～2週に愛知県、福井県各4件、岩手県、東京都、大阪府、高知県各2件、奈良県、熊本県各1件、計18件検出されている。

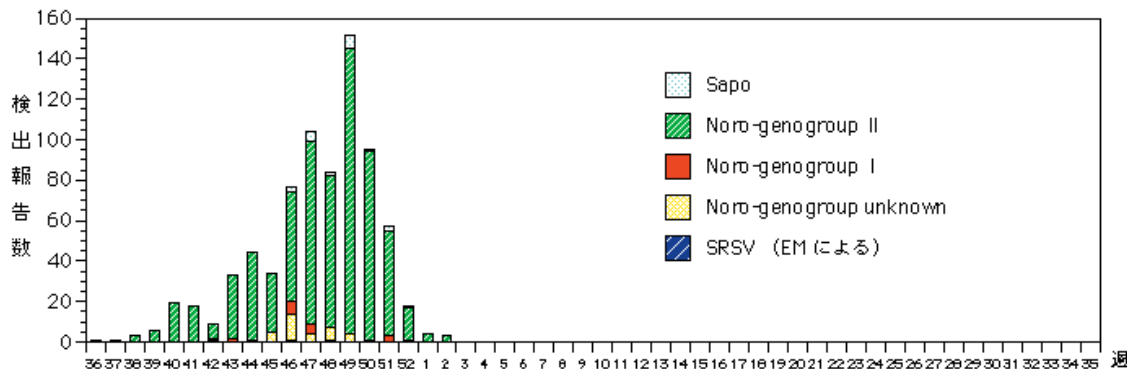
週別 SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去3シーズンとの比較 (2002/03- 2005/06)
(病原微生物検出情報：2006年1月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



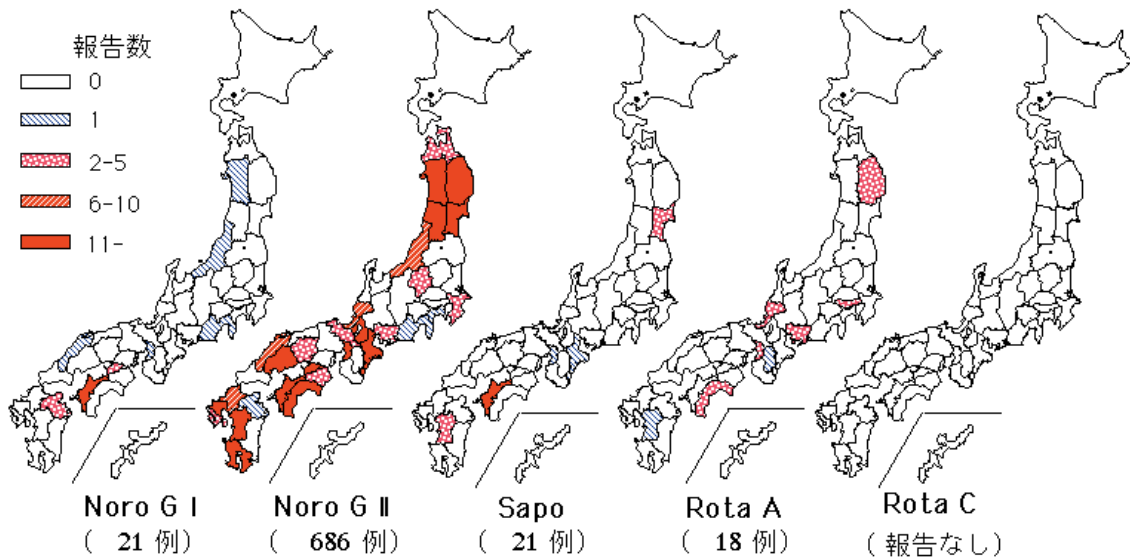
検出された SRSVの内訳、2005/06シーズン (病原微生物検出情報：2006年1月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2005/06シーズン
 (病原微生物検出情報：2006年1月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

急性脳炎(2003年11月5日～2005年10月27日報告分)

急性脳炎は2003年11月5日施行の感染症法改正によって、基幹定点(全国約500カ所の病院)からの報告による定点把握疾患から、五類感染症の全数把握疾患に変更され、診断したすべての医師は、診断から7日以内に届け出ることが義務づけられている。届け出の対象は、四類感染症として全数把握されるウエストナイル脳炎と日本脳炎を除き、それ以外の病原体によるもの、および病原体不明のものである。また、炎症所見が明らかでなくとも、同様の症状を呈する脳症も含まれる。当初、インフルエンザ脳炎や麻しん脳炎など、原疾患が届け出対象である場合は除くと解釈されていたが、厚生科学審議会感染症分化学会の審議を経て、2004年3月1日以降はこれらも届け出の対象となった。なお、届け出の時点で病原体不明なものについては、可能な限り病原体診断を行い、明らかになった場合には追加で報告することが求められている。

2003年11月5日～2005年10月27日の約2年間に報告された急性脳炎は、337例であった。都道府県別では、秋田県(37例)、山形県(24例)、東京都(23例)、新潟県(22例)、大阪府(20例)、福岡県(20例)が多かった(図1)。一方、この期間1例の報告もない都道府県が5県(徳島県、香川県、高知県、大分県、宮崎県)認められた。

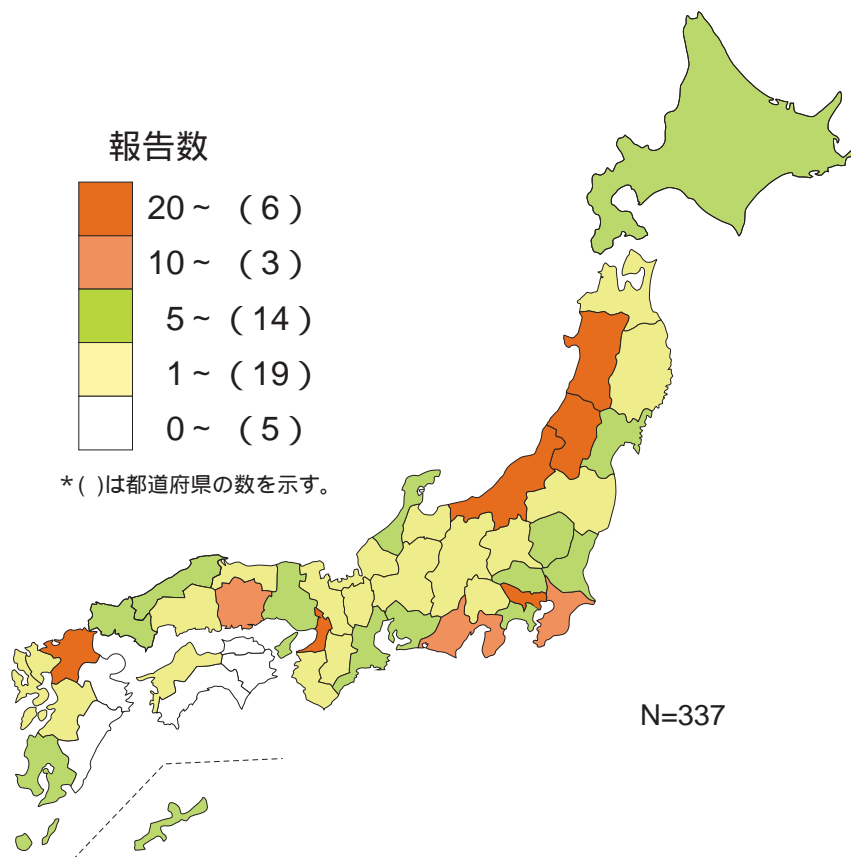


図1. 急性脳炎の都道府県別報告数(2003年11月5日～2005年10月27日報告分)

性別では男性186例(55%)、女性151例(45%)で、年齢別では0歳(6カ月)～93歳にわたり、中央値は31歳であった(図2)。このうち、16歳未満は139例(41%)〔男性74例、女性65例〕で、特に7歳以下が118例(全体の35%、16歳未満の85%)と多かった。16歳以上は198例(59%)〔男性112例、女性86例〕であった。

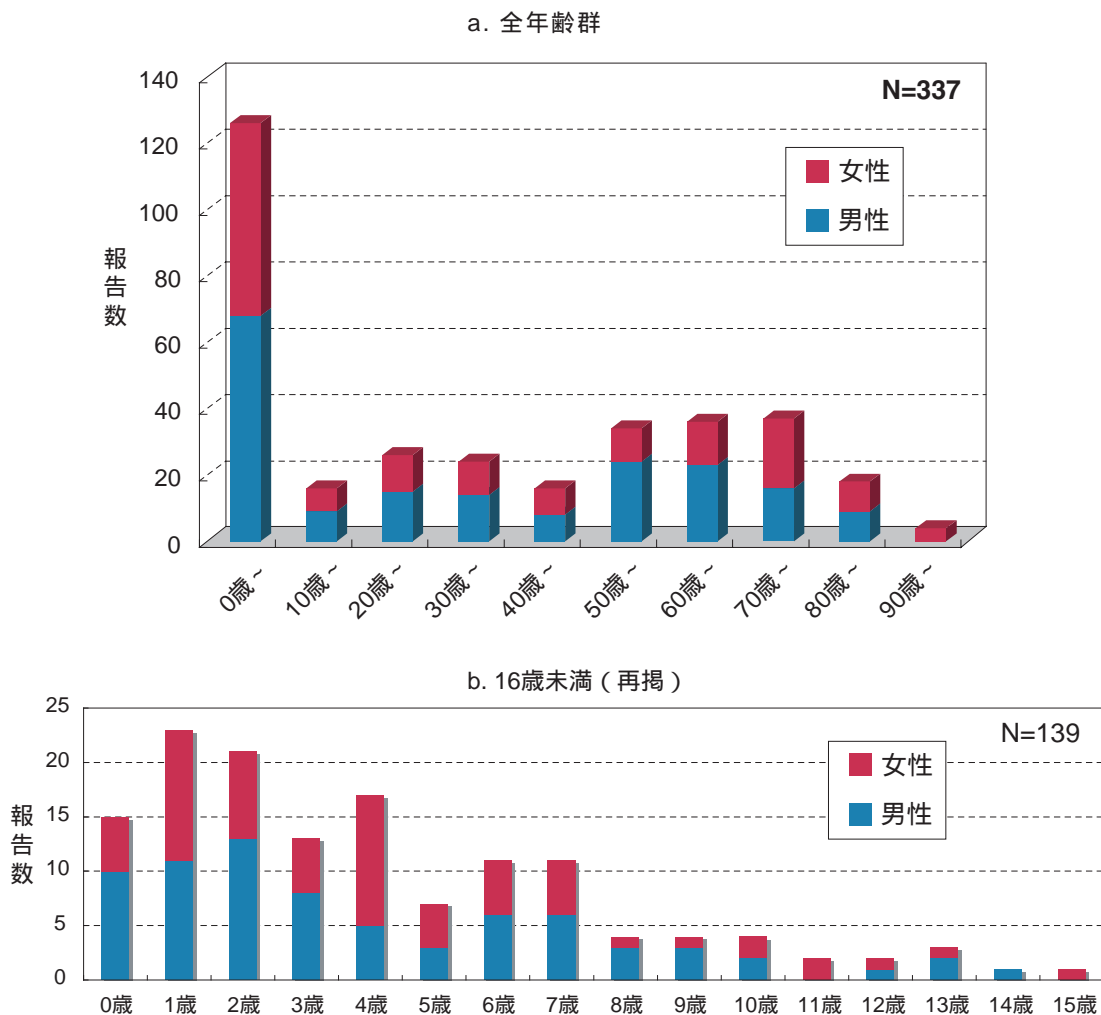


図2. 急性脳炎の性別・年齢群別報告数(2003年11月5日～2005年10月27日報告分)

16歳未満の139例について発症月別にみると、特に2005年2月および3月が多く、その病原体の大半がインフルエンザウイルスであった(図3a)。139例の病原体別では、病原体名の報告されたものは80例で、そのうちインフルエンザウイルスによるものが50例で最も多く、型別ではA型23例、B型23例、A型およびB型1例、型不明2例であった。次いで、HHV-6 6例、アデノウイルス4例、ロタウイルス4例などであった。病原体不明のものは59例で、42%を占めた。

16歳以上の194例(発病月が不明の4例を除く)について発症月別にみると、2004年9～11月に著しく多く、その病原体はほとんどが不明であった(図3b)。この3カ月間の報告数の60%が秋田県、山形県、新潟県の3県からの報告であり、スギヒラタケ関連疑いの脳炎・脳症発生の影響と考えられた。194例の病原体別では、病原体名の報告されたものは52例で、単純ヘルペスウイルスが23例と最も多かった。病原体不明のものは142例で、73%を占めた。発症月が不明の4例の病原体は全て不明であった。

予後については、届け出以降に追加報告のあったものを含めて、死亡の報告が47例(14%)であった。このうち、16歳未満は18例であり、性別では男性5例、女性13例で、年齢別では1歳3例、2～5歳10例、6～10歳3例、11～15歳2例であった。それらの病原体は、インフルエンザウイルス7例、アデノウイルス42型1例、コクサッキーウイルスA6型1例、ロタウイルス1例、不明8例であった。16歳以上の死亡例は29例で、性別では男性14例、女性15例、年齢別では16～19歳1例、20代3例、30代1例、40代2例、50代5例、60代7例、70代7例、80代3例であった。それらの病原体は、インフルエンザウイルス3例(60代2例、80代1例)、麻しんウイルス1例(20代)、単純ヘルペスウイルス1例(70代)、不明が24例であった。

この様に、近年問題となっているインフルエンザ脳症やエンテロウイルス71型による重篤な脳炎のみならず、麻しん脳炎などワクチン接種によって予防可能な疾患による死亡例や、地域的な急性脳炎の集積事例などの公衆衛生上の対応を必要とする事例が経験された。

また、この約2年間に1例の報告もない都道府県があることなどから、未報告の症例が多く存在することが推測される。急性脳炎が届出対象疾患であることを、一層周知徹底することが必要である。

病原体については不明が半数以上を占めていた。病原体の特定は診療現場における早期診断・治療や、ワクチン接種などによる予防対策に非常に重要であるので、特に集団発生など公衆衛生上重要と判断される場合においては、医療機関と行政機関の協力によって、より積極的な病原体検索を実施することが望まれる。

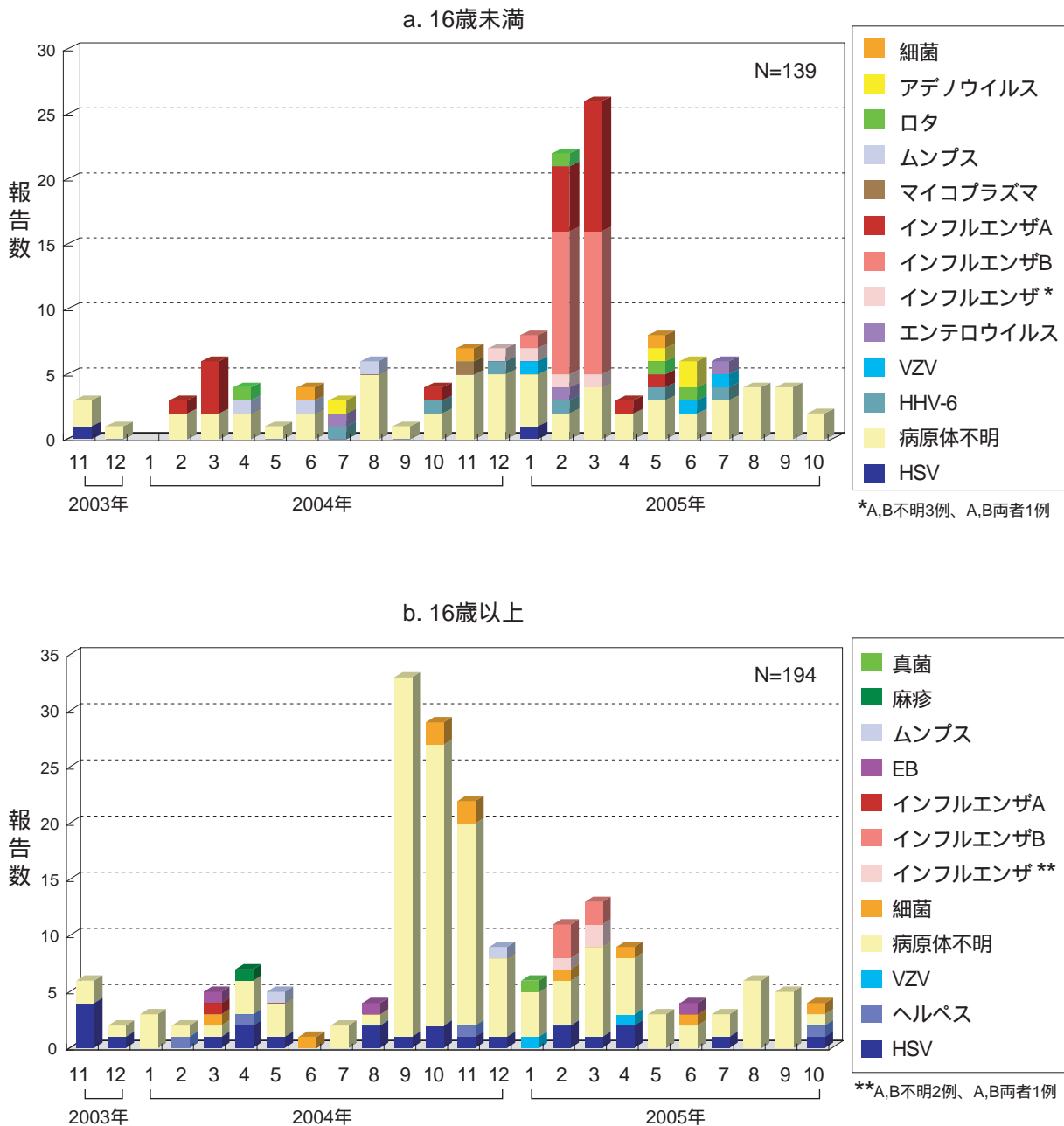


図3. 急性脳炎の発症月別病原体



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

トルコでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/CSR 2006年1月16日 - 更新5

アンカラのトルコ国立インフルエンザセンターは、あらたにH5N1感染者2例を確定した。1例はAgri州Dogubayazit地区の5歳男児で、容態は落ち着いている。

他の1例はこの患者の14歳の姉で、H5N1類似症状を呈して1月15日に死亡した。本日検査により、鳥インフルエンザH5N1が確定された。

トルコの他の症例と同様、この2例には病鳥との接触歴があった。

1月1日に家で飼っていたアヒルが死亡し始め、アヒルを食用にするため2人は殺処分を行った。2人とも1月4日に症状が出現し、1月11日に入院した。他の家族に症状はなかった。これにより、トルコでの患者数は20例(うち死亡4例)となった。20例中18例は4～18歳の小児である。

WHO/CSR 2006年1月18日 - 更新6

1月18日時点で、トルコのアンカラにある国立インフルエンザセンターで実施された診断検査により、新たなH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者が確定された。患者は、同国東部のAgri州Dogubayazit地区在住の4歳の男児であった。この地区での家禽の鳥インフルエンザ感染は、2005年12月に始まった。患児は2005年1月5日に発症し、1月13日に入院した。現在、Erzurum州にある病院で治療されている。

1月16日にDogubayazit地区で診断確定された患者2名と同様、この患児の感染曝露は、政府による住民への教育キャンペーン強化開始前であった。鳥インフルエンザ感染による被害が最も深刻なトルコ東部で実施されている緊急調査の結果、鳥インフルエンザとその感染のリスク因子について、ほぼすべての住民が認識していることが確認された。このような認識に基づいて住民の行動が変化しており、鳥インフルエンザウイルスのヒトへの感染機会は減少するものと予想される。

トルコ国内の多くの地区で、H5N1型ウイルスによる鳥類の感染が確認されているため、新たなヒト患者の発生が続くことが予想される。しかし、そのような新たな患者数は、住民のハイリスク行動が減少し、現在進行中の家禽の大量処分によって感染した個体数が減少するため、漸減していくものと期待される。

今回の確定患者発生により、トルコ国内の累計患者数は21名になり、このうち4名が死亡している。死亡した4名はいずれもDogubayazit地区在住であった。

検体の第2便が1月17日に、英国のWHO協力検査機関に到着した。ここでは診断の確認の他に、ウイルスの特性、遺伝子解析、抗原性解析の実施を予定している。これらの解析は、分離されたウイルス株が変異しているかどうかを決定するのに有用である。また抗原性解析は、パンデミック株に対するワクチン開発が本道から外れていないことを確認するのに役立つ。最初の検査結果は、今週後半に判明すると予想される。

Nature/News 2006; 439: 248-9 2006年1月19日

トルコで発生した鳥インフルエンザ感染患者から分離したウイルス検体を解析していた研究者チームが、同ウイルスの遺伝子配列に3カ所の変異を確認した。研究者は、変異のうち少なくとも2カ所は、ウイルスがヒトに感染しやすいよう働く可能性が高いとしている。

トルコでの鳥インフルエンザ感染流行は以下の点で、これまでの事例とは異なっている。すなわち、家族内集団感染例での患者数が多く、感染者の多くが軽症であり、2週間足らずの期間に患者20名が発生した程、感染の速度が速い。

そのため研究者は、トルコでの鳥インフルエンザの流行では、ウイルスが以前からのアジアでの流行とは異なる動きをしているのかどうかを迅速に確認しようと試みている。特に、国際チームは、同ウイルス株がヒトの間で感染伝播する可能性を調査している。ジュネーブにあるWHO本部の広報官は、「これだけ短期間に多数の患者が発生していることから、ヒト・ヒト感染伝播も考慮すべき事柄の1つである」と指摘した。

Nature誌が発行されるのと同時に、トルコでの初の死亡者2名(ともにティーンエイジャー)からのウイルス検体が、ロンドンの国立医科学研究のWHO協力センターによって遺伝子解析された。解析結果はこれまでのところ、安心させるものではない。先週見つけて公表された第1の変異とは、1つのウイルス株で見つかった、ヘムアグルチニン蛋白の223位アミノ酸の置換である。この蛋白は、インフルエンザウイルスが宿主細胞の表面受容体に結合するのを可能とする。今回確認された変異は、これまでも2回確認されている、すなわち、2003年の香港での患者2名(父親と息子)と、2005年のベトナムの死亡者1名の事例である。この変異によって、同ウイルスはヒトの受容体への親和性を増すため、ヒトにより感染しやすいように変化する。

Nature誌が確認したところでは、同じウイルス検体には、ヘムアグルチニン蛋白の153位アミノ酸の変異も認められた。広報官は、「この変異の意義は十分に解明されていないため、WHO声明にはこの情報は含まれていない」としている。

第3に、トルコのティーンエイジャーからの2検体は両方とも、ウイルスが自身の遺伝子複製に用いる酵素であるポリメラーゼ蛋白の627位のグルタミン酸が、ロイシンに置換されていることが確認された。この変異は、昨年中ユーラシアの家禽から分離された別のウイルスで認められている。また、2003年のオランダでのH7N7型鳥インフルエンザ流行の際に死亡した者からの分離株でも、確認されていた。このポリメラーゼ蛋白の変異は、1918年のパンデミックウイルスを発生させた10カ所の遺伝子変異の1つである。

研究者は、このような変異が他の分離株にも認められるのか否かを検討し、さらなる変異を確認するため、トルコの患者から採取された別のウイルス株の遺伝子解析を行っている。1月18日には、複数の検体がロンドンに到着する予定となっている。

中国での鳥インフルエンザ流行状況

WHO/CSR 2006年1月19日 - 更新

2006年1月19日時点で、中国保健省は新たなH5N1型鳥インフルエンザ感染患者1名を確認した。この患者は、中国南中部の四川省在住の35歳女性で、家禽の食肉処理に従事していた。患者は1月3日に発症し、10日に発熱と肺炎を呈して入院し、11日に死亡した。

現在、この患者が家禽の食肉処理中に曝露されたのか、または、在住している村で感染した鳥に曝露されたのかを確認するため、詳細な調査が行われている。患者は、8家族が近接して居住する住宅団地に住んでいた。これらの家族および他の濃厚接触者は、現在医療観察下に置かれている。現在のところ、インフルエンザ様症状は報告されていない。

この新たな確定患者は、中国で9例目の患者である。そのうち6名が死亡している。ヒト患者は以下の7カ所の省および自治区で発生している、すなわち、安徽省、広西自治区、遼寧省、江西省、福建省、湖南省、四川省である。

南アフリカ(Free State州)でのクリミア・コンゴ出血熱

Special Pathogens Branch/National Institute for Communicable Diseases 2006年1月19日
南アフリカFree State州Petrusburg地区に住む52歳の女性が、Bloemfontein市とKimberley市の間にある畜産農場でクリミア・コンゴ出血熱(CCHF)と診断された。

患者は発熱、関節痛、上腹部痛(心窩部痛)および嘔吐で急性発症した。発症の9日前に、足から*Hyalomma*属ダニを除去した既往があった。検査所見では、著明な血小板減少と肝トランスアミナーゼの上昇が見られた。ヨハネスブルグにある国立感染症研究所の特殊病原体部門で、第8病日に採取された検体でRT-PCR法を用いたCCHFウイルス核酸検出を行い、CCHFの診断が確定された。集中治療が施されたにもかかわらず、患者は死亡した。本日までに二次感染患者は報告されていない。この患者は、2006年に南アフリカで検査室診断確定された第1例目のCCHF患者である。

感染したダニの刺咬によるCCHFでは、典型的にはその潜伏期は短く、通常1～3日である。この点からは、今回の患者のCCHF感染源として、発症9日前のダニ曝露という病歴は異例である。しかし、この患者は*Hyalomma*属ダニの生息地に居住しているため、その後に感染ダニに曝露された可能性はある。

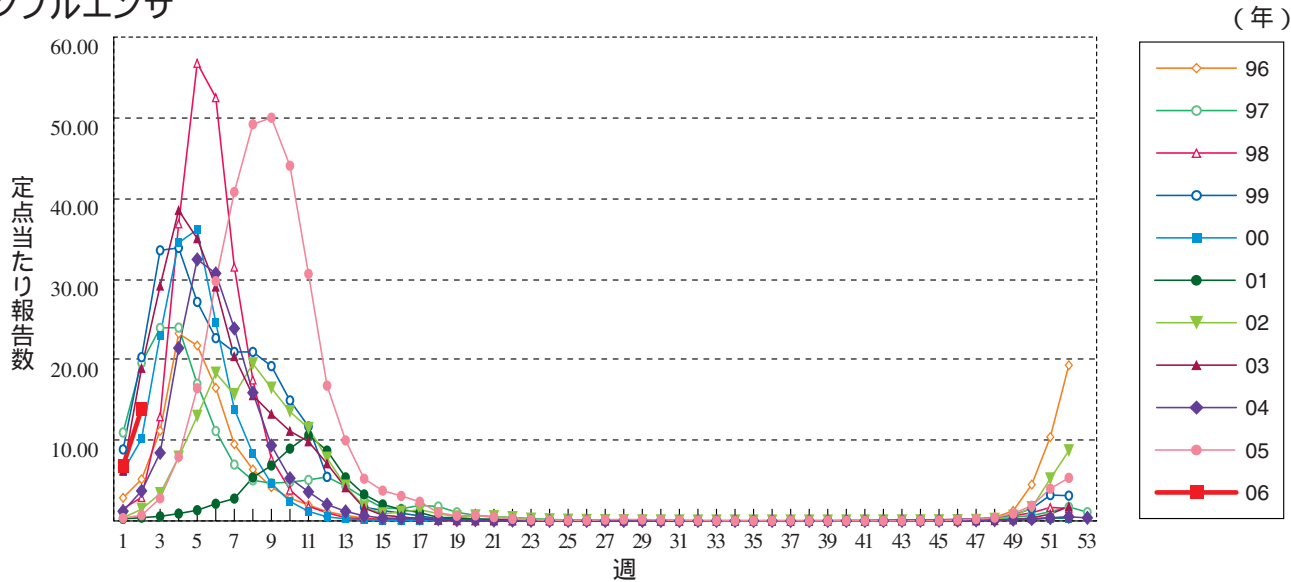


感染症の話

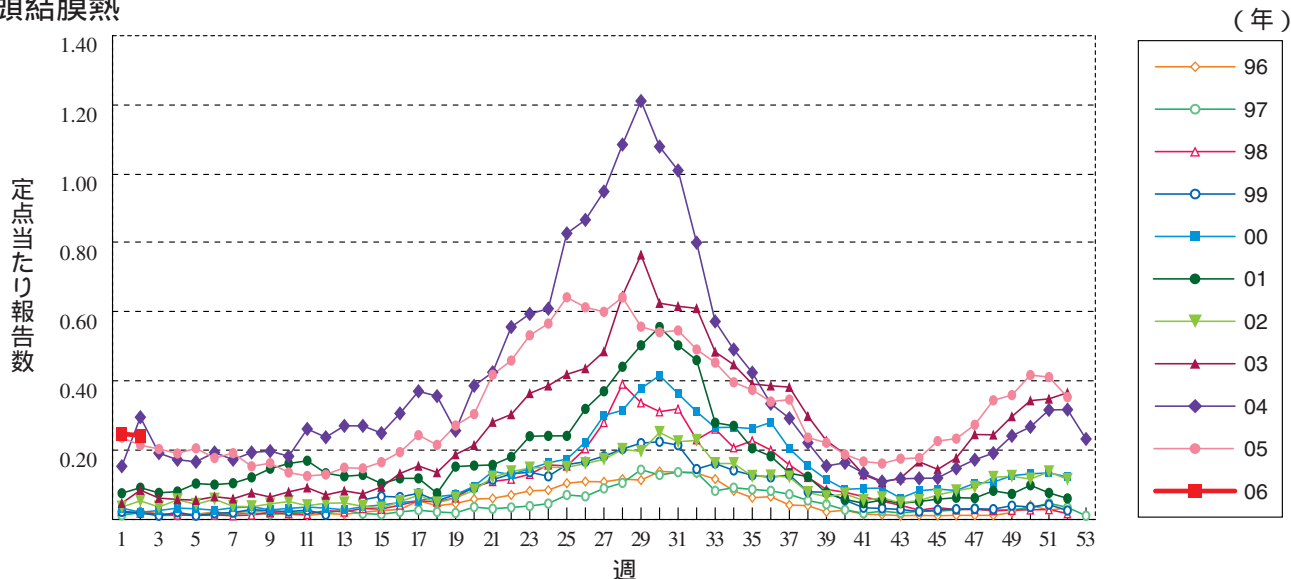
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(2週)

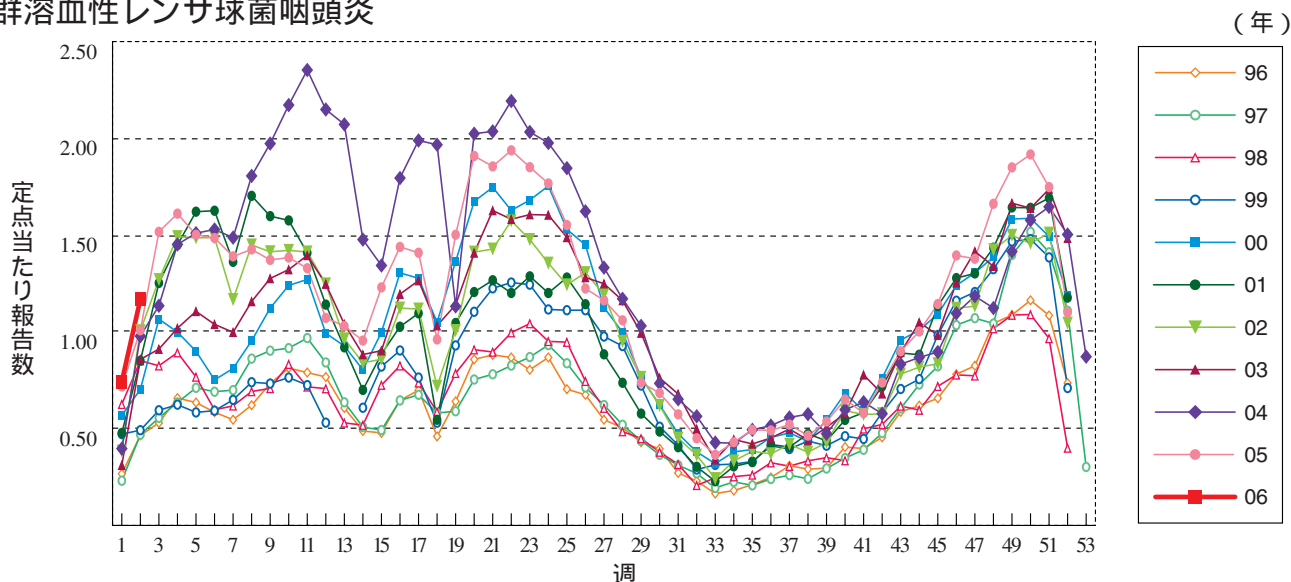
インフルエンザ



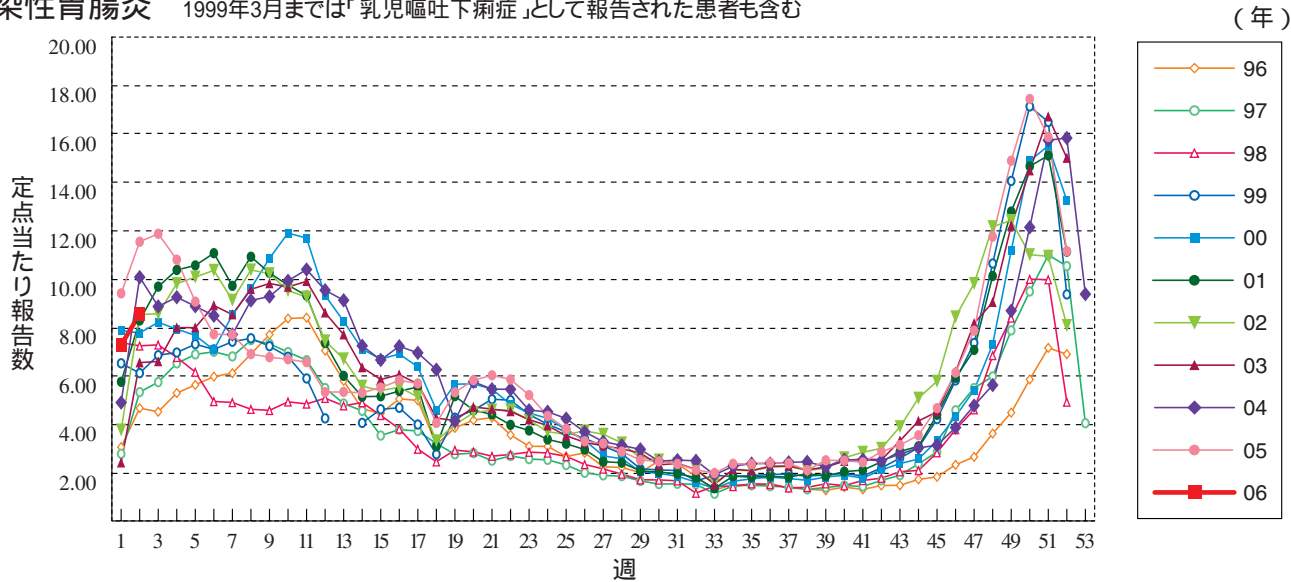
咽頭結膜熱



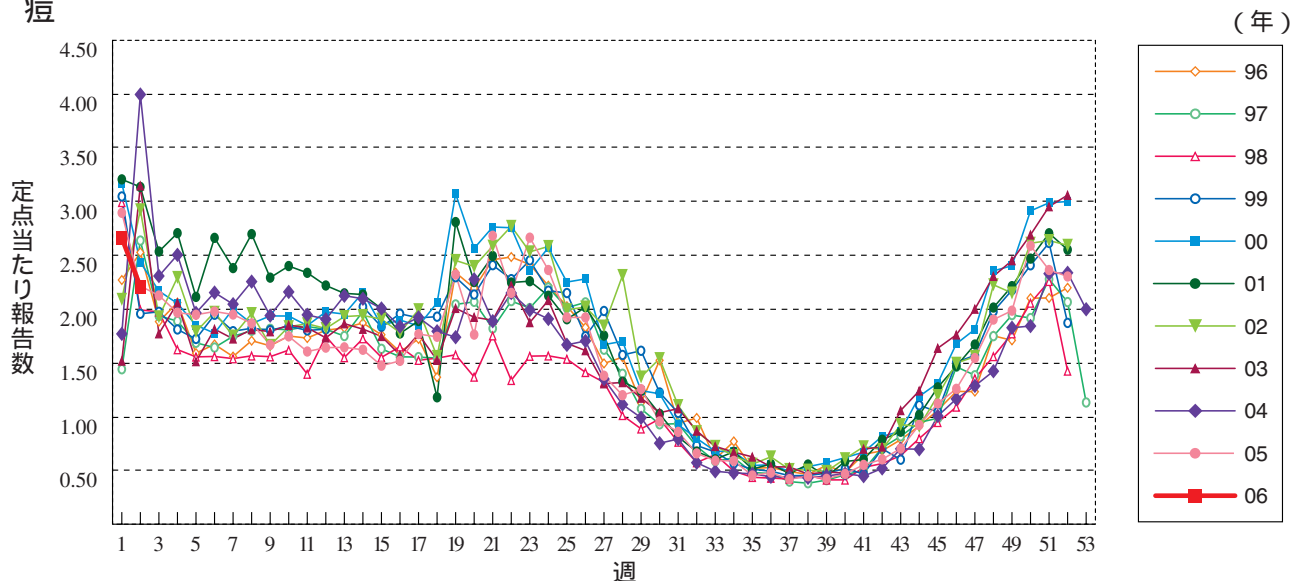
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



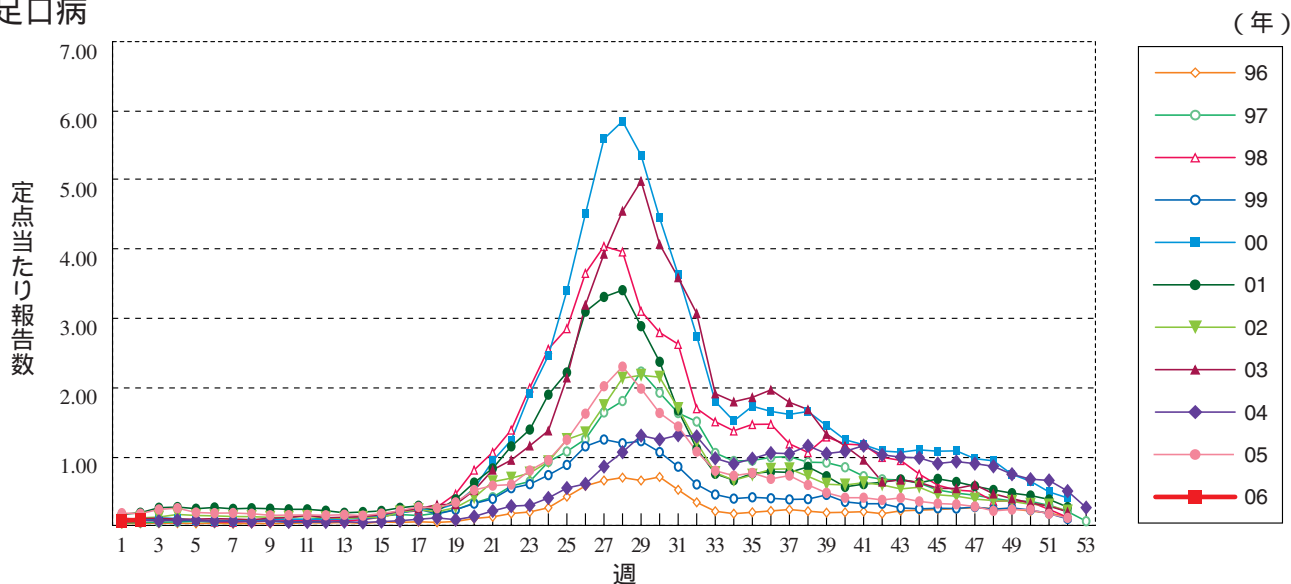
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



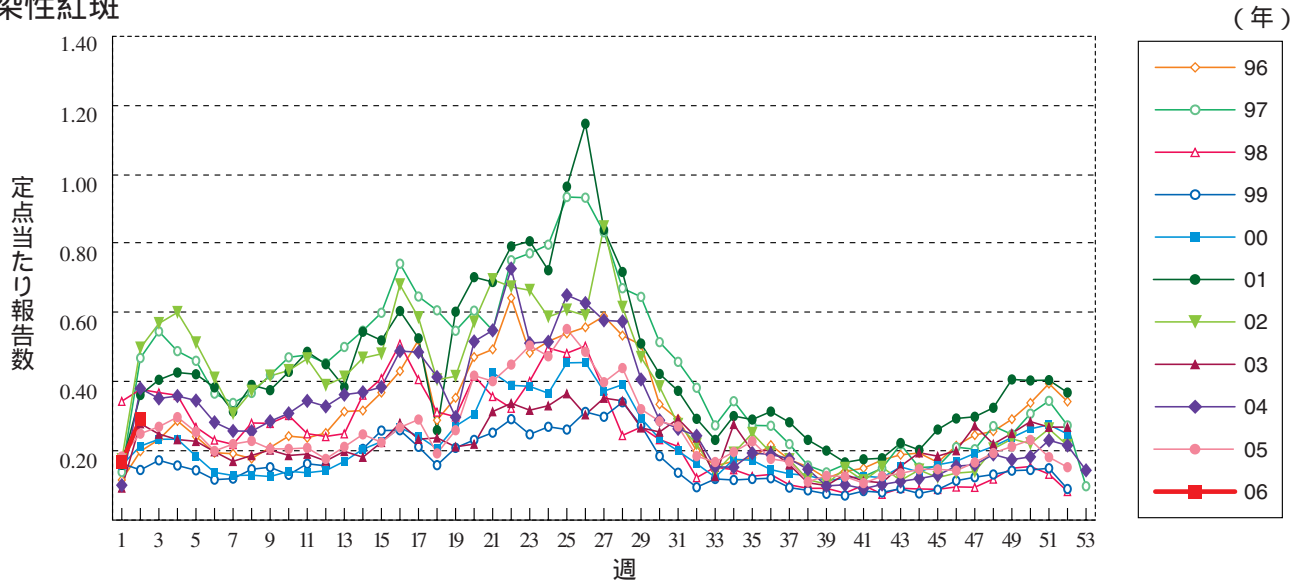
水痘



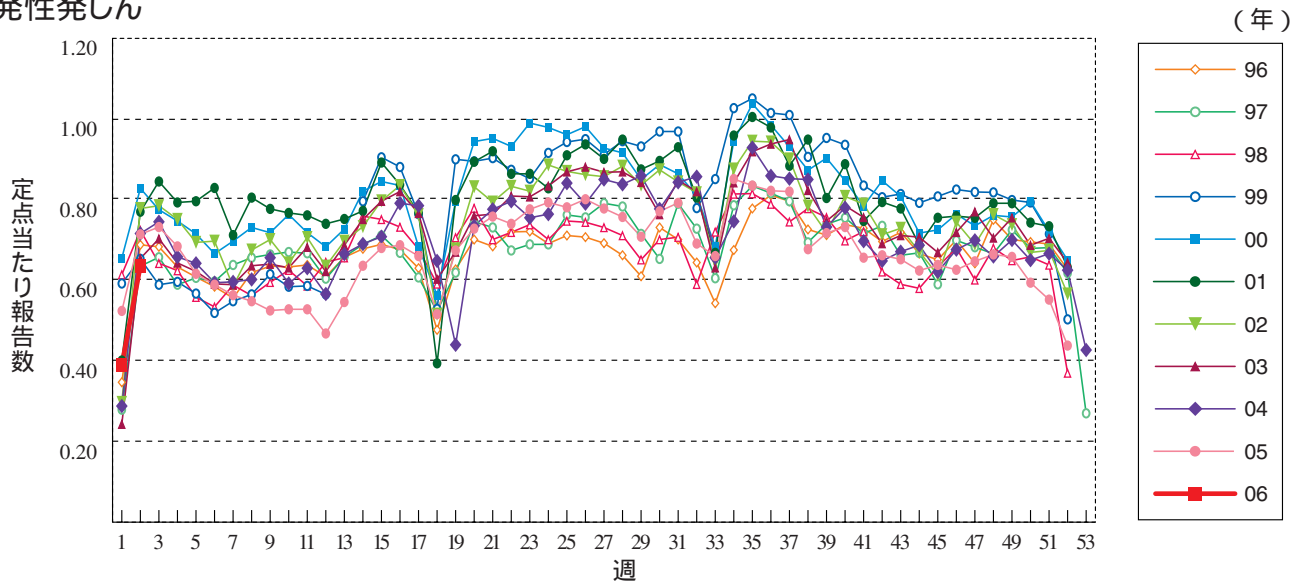
手足口病



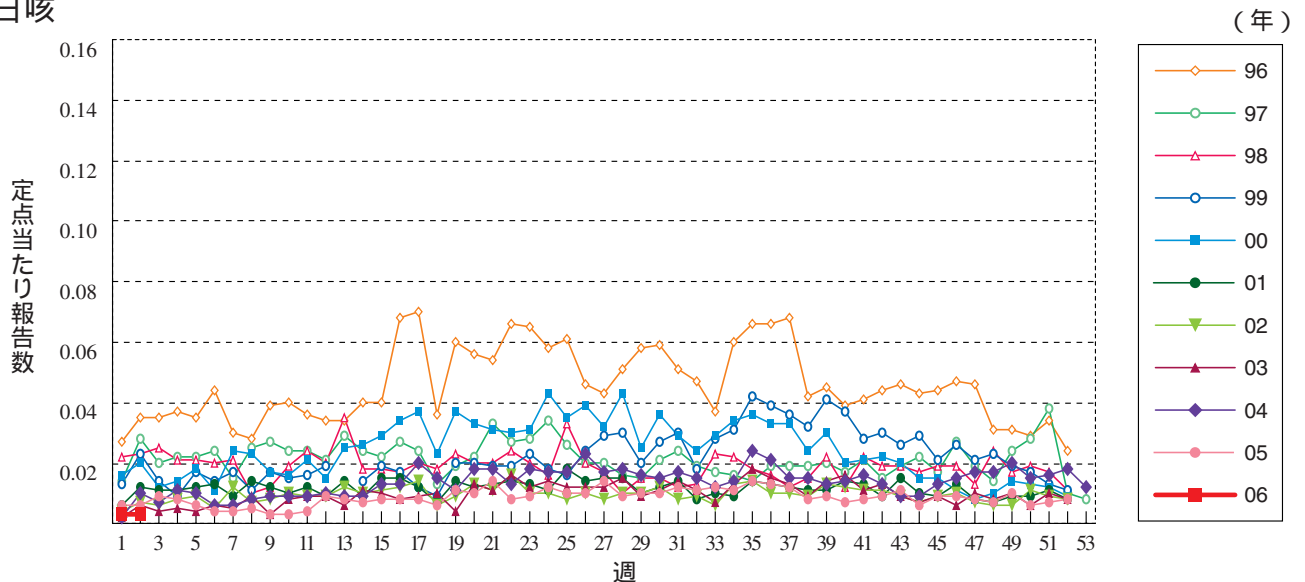
伝染性紅斑



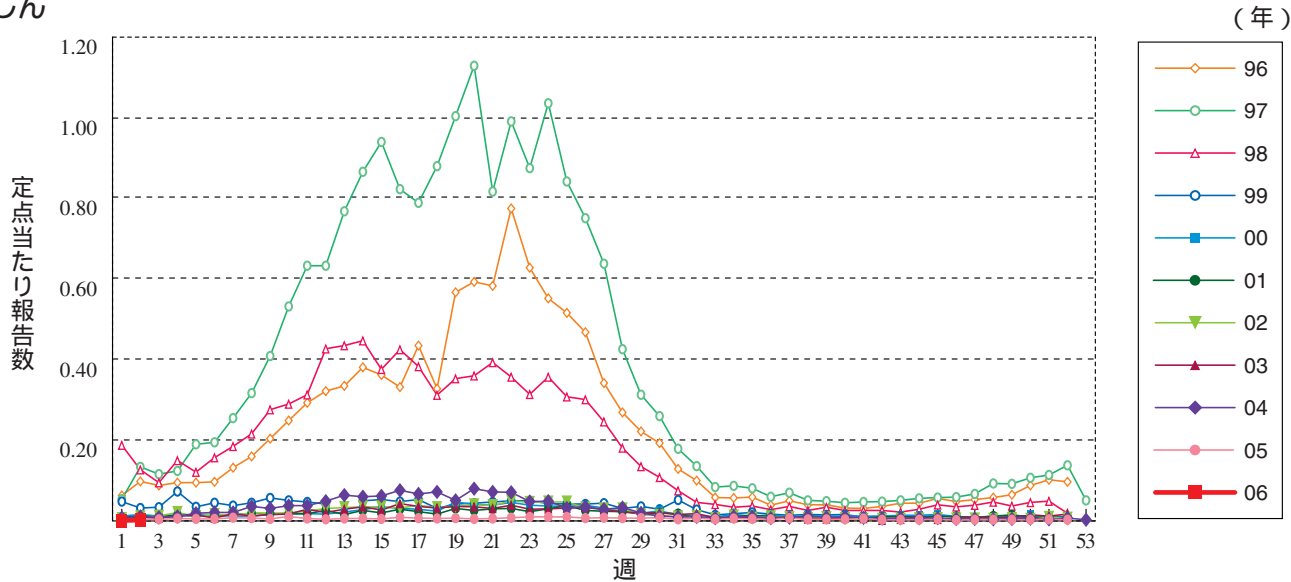
突発性発しん



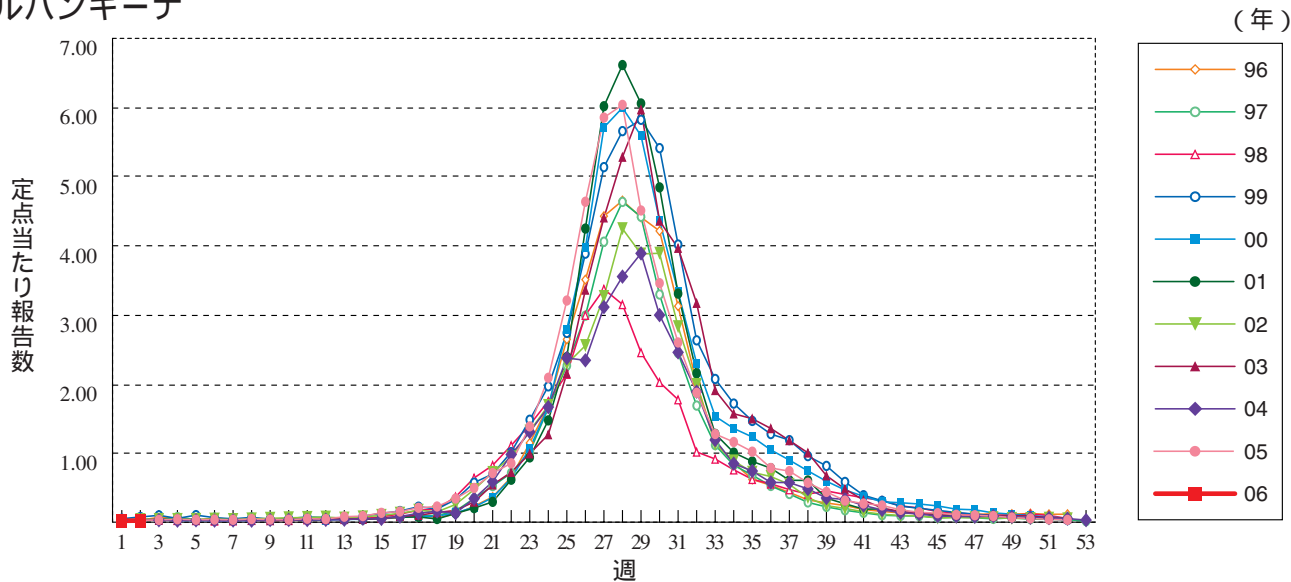
百日咳



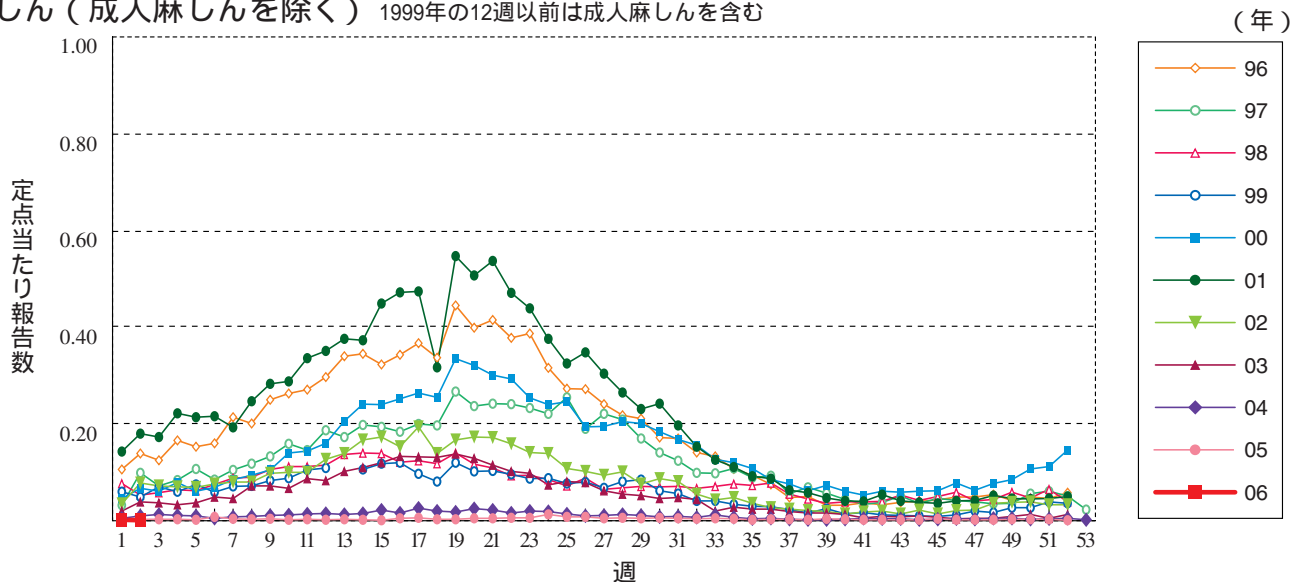
風しん



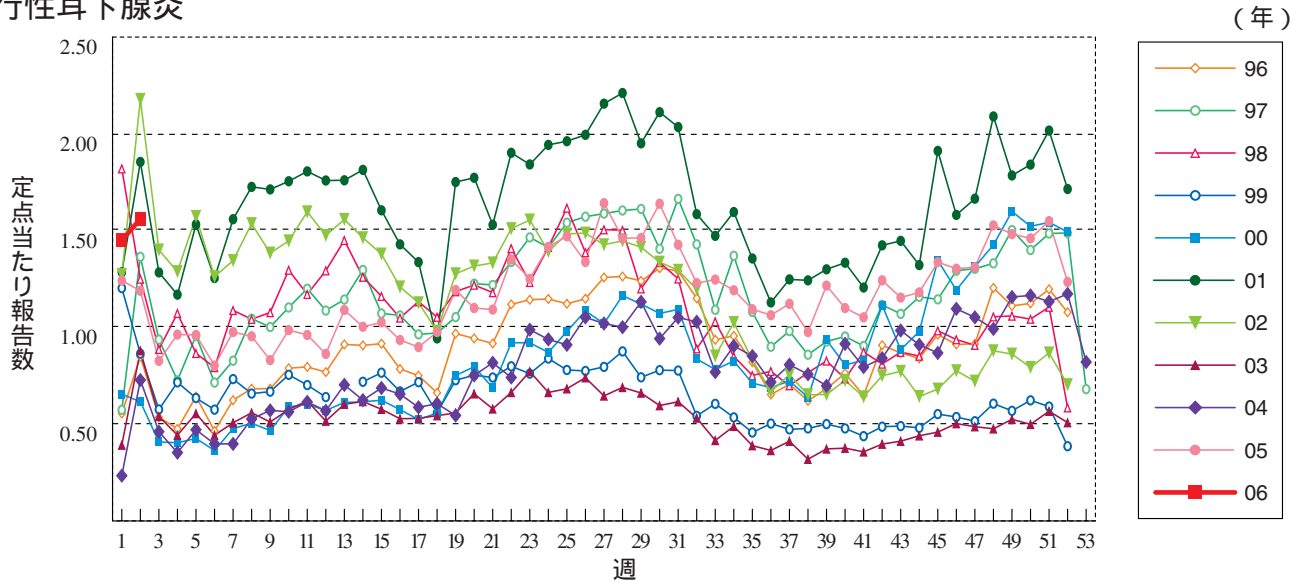
ヘルパンギーナ



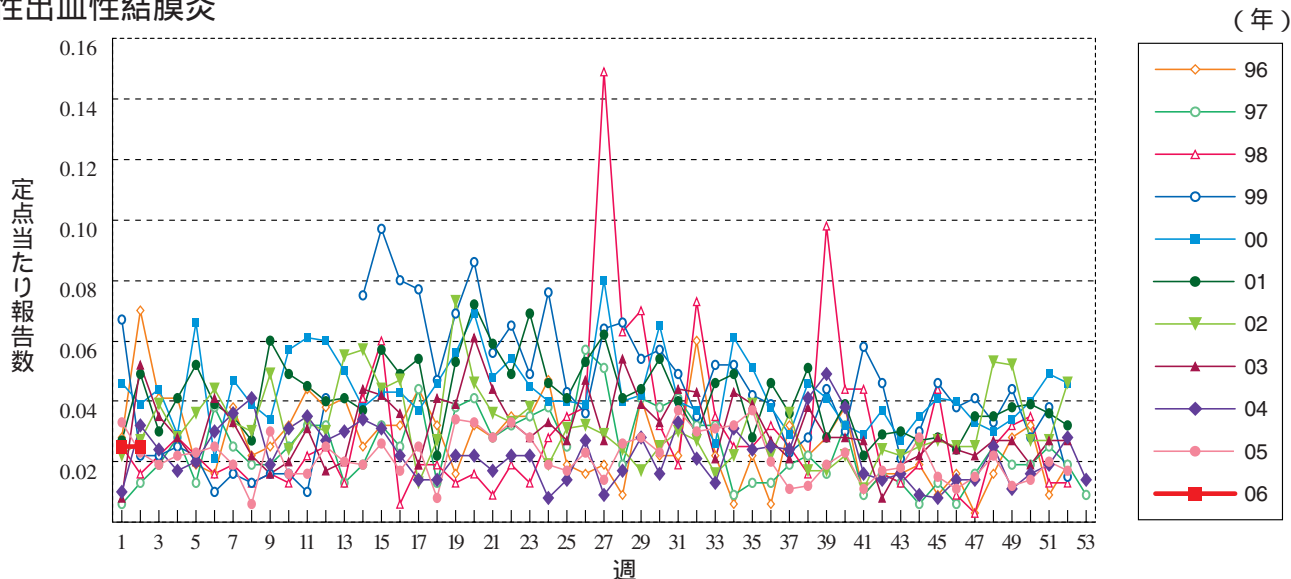
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



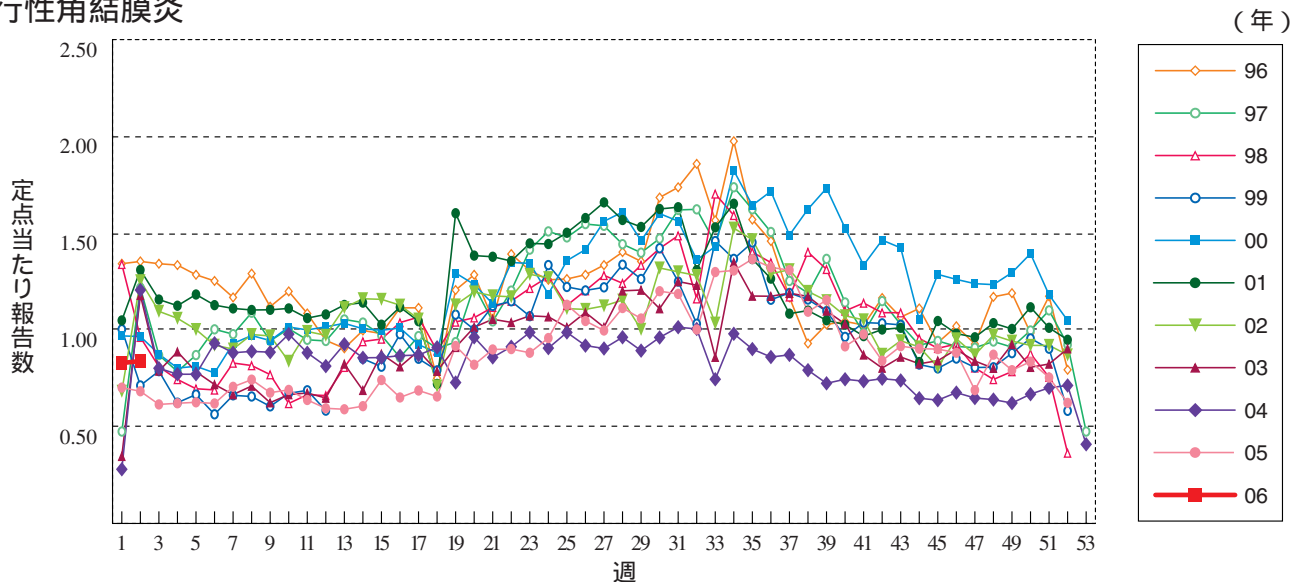
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

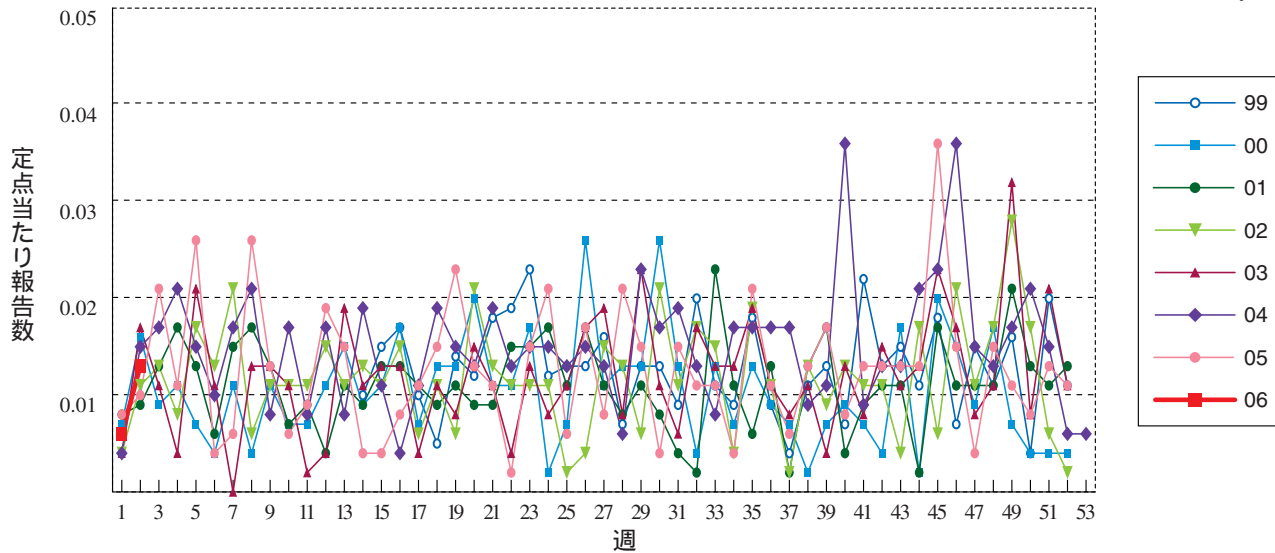


流行性角結膜炎



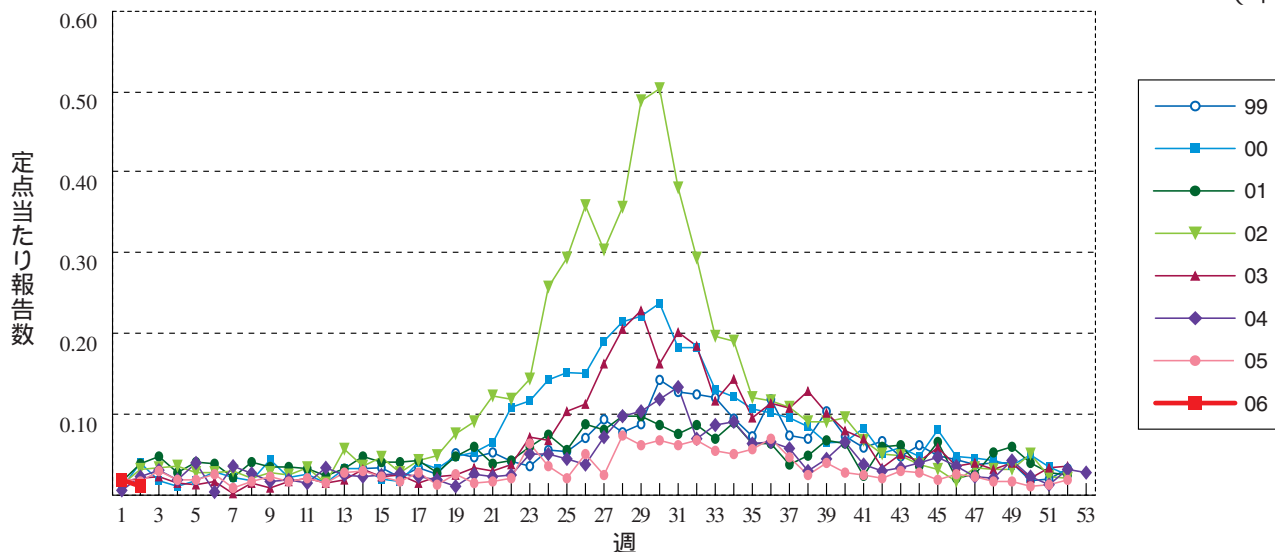
細菌性髄膜炎

(年)



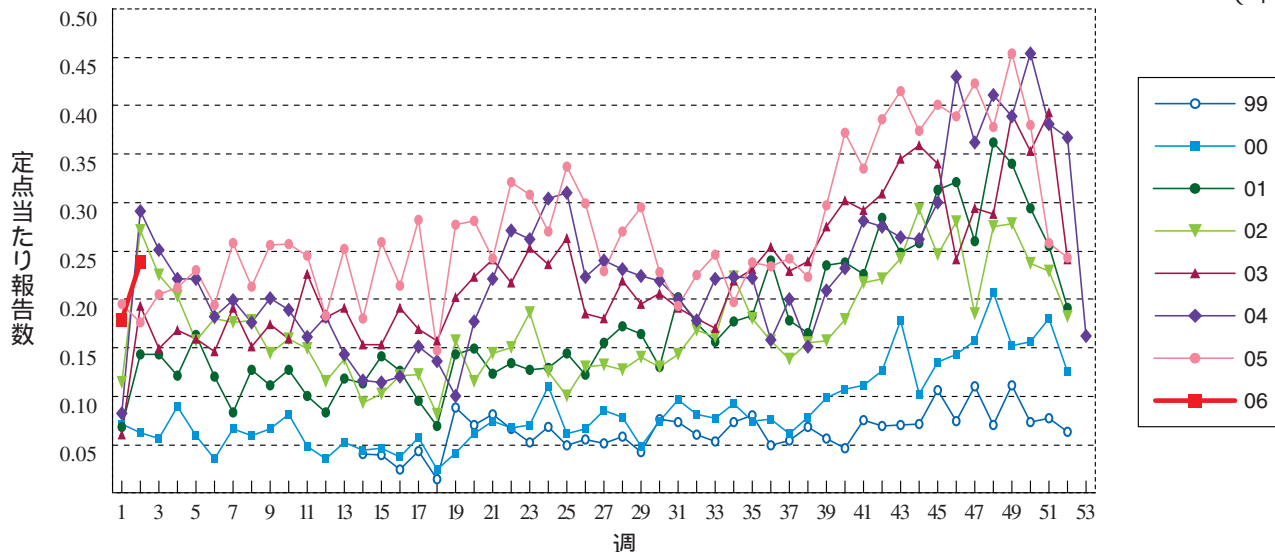
無菌性髄膜炎

(年)



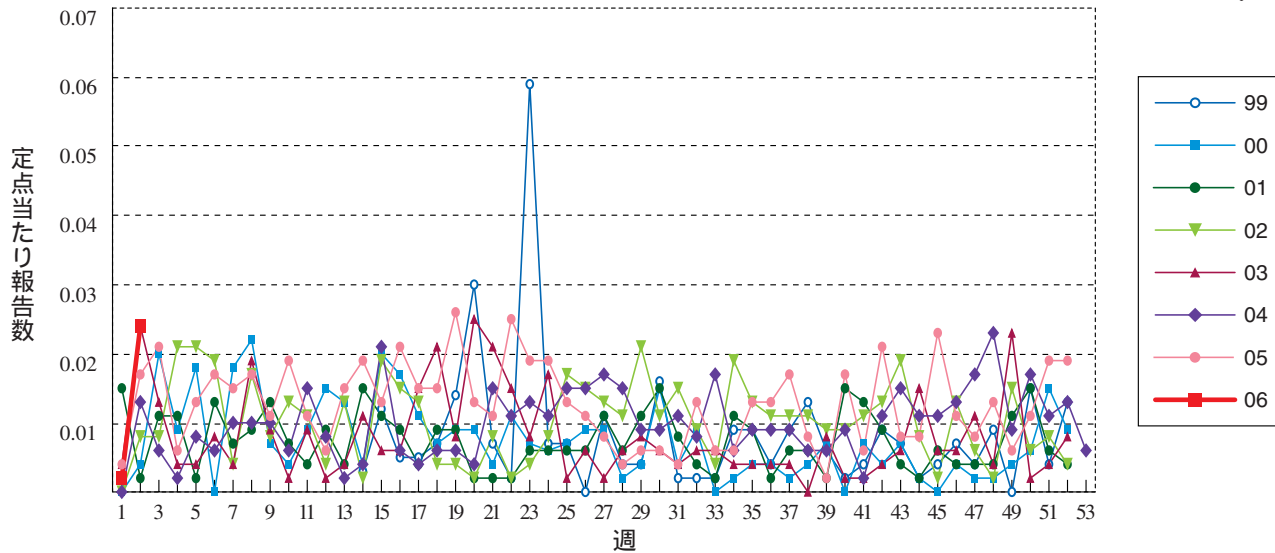
マイコプラズマ肺炎

(年)



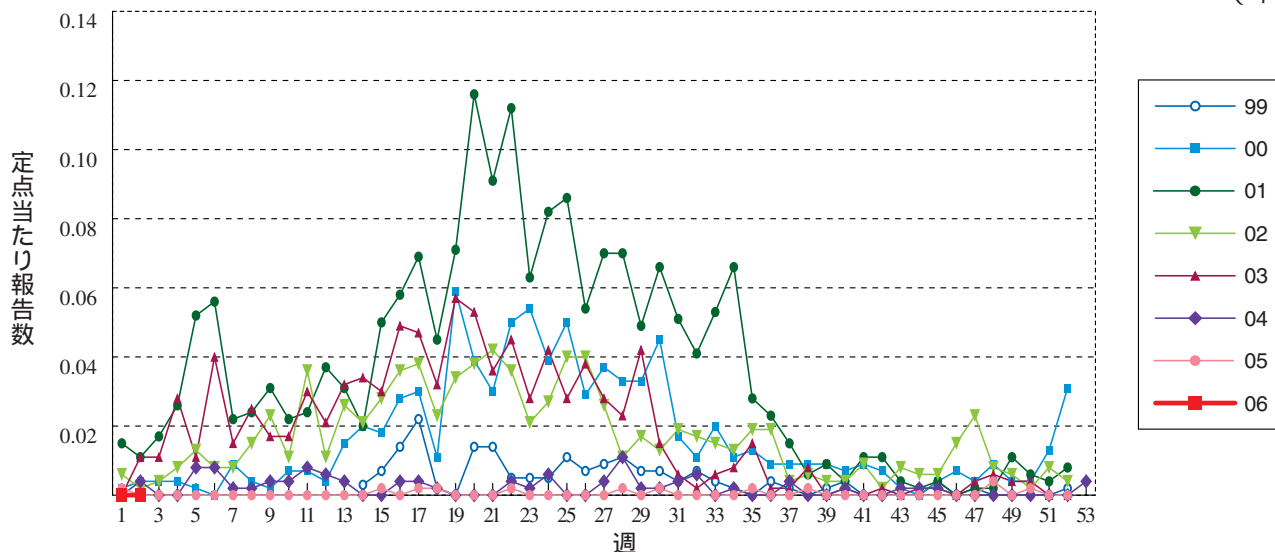
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



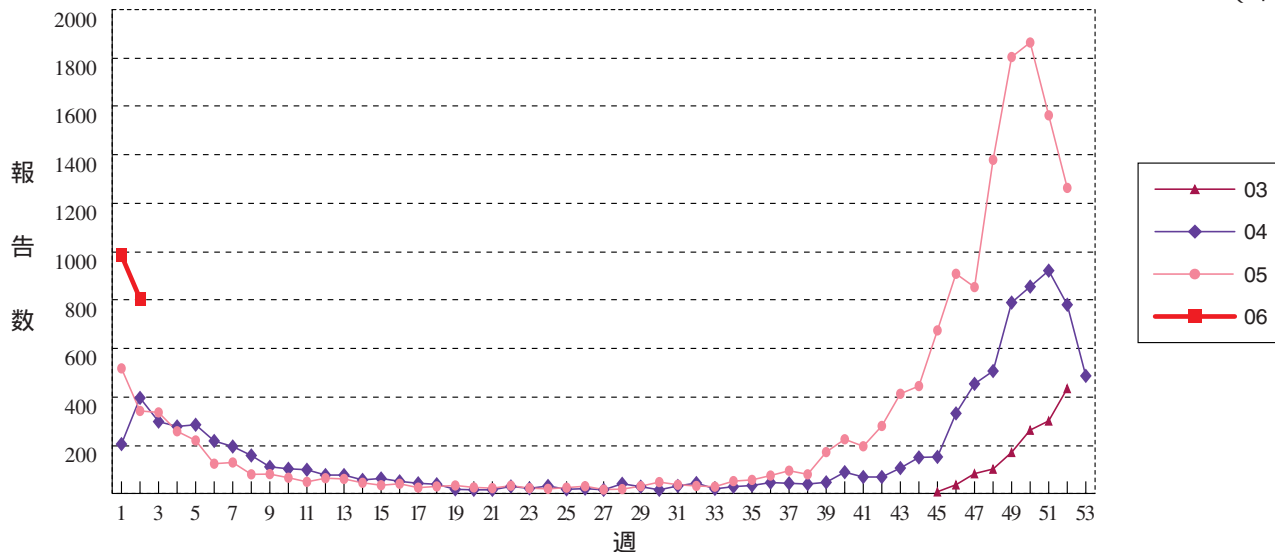
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





2週 of データ

注) 表中の報告数は1月18日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成18年2週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	17	-	1	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	15	4	6	-	-	-	-	1	2	-	-	2	4
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	3	-	2	6	18	-	-	-	5	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
神奈川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	6	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	1	-	-	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ポツリヌス症」「ポツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	65078	13.88	739	0.24	3555	1.17	26033	8.56	6723	2.21	242	0.08	891	0.29	1932	0.63	9	0.00
北海道	879	3.84	50	0.34	198	1.36	334	2.29	339	2.32	8	0.05	5	0.03	71	0.49	1	0.01
青森県	493	7.70	3	0.07	17	0.40	177	4.21	82	1.95	1	0.02	45	1.07	14	0.33	-	-
岩手県	513	8.14	-	-	21	0.55	143	3.76	115	3.03	4	0.11	5	0.13	10	0.26	-	-
宮城県	1369	15.04	16	0.29	81	1.45	535	9.55	138	2.46	2	0.04	10	0.18	52	0.93	1	0.02
秋田県	257	4.67	12	0.34	38	1.09	156	4.46	63	1.80	1	0.03	11	0.31	4	0.11	-	-
山形県	246	5.13	7	0.23	78	2.60	175	5.83	67	2.23	-	-	12	0.40	23	0.77	-	-
福島県	1041	13.01	20	0.42	40	0.83	548	11.42	103	2.15	4	0.08	49	1.02	30	0.63	-	-
茨城県	950	8.05	8	0.11	107	1.45	502	6.78	101	1.36	1	0.01	32	0.43	24	0.32	-	-
栃木県	625	8.93	3	0.07	26	0.57	501	10.89	63	1.37	3	0.07	7	0.15	25	0.54	-	-
群馬県	1004	10.14	5	0.08	87	1.43	542	8.89	104	1.70	6	0.10	11	0.18	50	0.82	-	-
埼玉県	2766	10.76	31	0.19	231	1.43	1990	12.28	342	2.11	19	0.12	66	0.41	110	0.68	-	-
千葉県	2298	10.79	11	0.08	220	1.65	1156	8.69	281	2.11	5	0.04	46	0.35	79	0.59	1	0.01
東京都	1189	6.68	31	0.22	166	1.17	1159	8.16	191	1.35	6	0.04	67	0.47	66	0.46	-	-
神奈川県	2479	7.40	42	0.20	238	1.16	1920	9.32	329	1.60	19	0.09	93	0.45	153	0.74	-	-
新潟県	413	4.21	27	0.44	119	1.92	765	12.34	208	3.35	4	0.06	1	0.02	45	0.73	-	-
富山県	180	3.75	9	0.31	44	1.52	347	11.97	32	1.10	3	0.10	7	0.24	20	0.69	-	-
石川県	251	5.23	10	0.34	75	2.59	392	13.52	114	3.93	3	0.10	1	0.03	23	0.79	-	-
福井県	429	13.41	21	0.95	48	2.18	353	16.05	76	3.45	4	0.18	-	-	16	0.73	-	-
山梨県	298	7.27	3	0.12	13	0.52	144	5.76	19	0.76	-	-	4	0.16	6	0.24	-	-
長野県	664	7.55	34	0.62	74	1.35	483	8.78	124	2.25	3	0.05	16	0.29	30	0.55	-	-
岐阜県	645	7.68	43	0.81	47	0.89	233	4.40	94	1.77	12	0.23	7	0.13	20	0.38	-	-
静岡県	3084	22.51	14	0.16	104	1.21	1010	11.74	164	1.91	3	0.03	15	0.17	73	0.85	1	0.01
愛知県	1765	9.05	26	0.14	210	1.15	1633	8.97	368	2.02	41	0.23	21	0.12	122	0.67	-	-
三重県	828	11.34	9	0.20	44	0.98	569	12.64	83	1.84	3	0.07	8	0.18	44	0.98	-	-
滋賀県	1076	21.10	2	0.06	24	0.75	156	4.88	46	1.44	1	0.03	3	0.09	19	0.59	-	-
京都府	1384	11.44	7	0.09	38	0.51	357	4.76	85	1.13	7	0.09	9	0.12	28	0.37	1	0.01
大阪府	3759	13.05	67	0.34	181	0.91	1273	6.43	459	2.32	16	0.08	28	0.14	108	0.55	2	0.01
兵庫県	3453	17.80	21	0.17	122	0.96	883	6.95	452	3.56	5	0.04	46	0.36	100	0.79	-	-
奈良県	686	12.47	5	0.14	51	1.46	264	7.54	62	1.77	2	0.06	1	0.03	15	0.43	-	-
和歌山県	773	15.46	8	0.26	16	0.52	426	13.74	39	1.26	-	-	9	0.29	22	0.71	-	-
鳥取県	649	22.38	1	0.05	43	2.26	164	8.63	65	3.42	-	-	17	0.89	17	0.89	-	-
島根県	403	11.51	14	0.61	26	1.13	211	9.17	41	1.78	3	0.13	49	2.13	17	0.74	-	-
岡山県	2235	26.93	9	0.17	22	0.41	295	5.46	100	1.85	2	0.04	5	0.09	23	0.43	-	-
広島県	2356	20.49	21	0.29	58	0.81	833	11.57	196	2.72	1	0.01	11	0.15	49	0.68	2	0.03
山口県	1656	23.66	6	0.12	76	1.55	622	12.69	135	2.76	2	0.04	14	0.29	42	0.86	-	-
徳島県	487	12.82	1	0.04	19	0.83	333	14.48	42	1.83	-	-	6	0.26	16	0.70	-	-
香川県	1264	24.78	11	0.34	19	0.59	241	7.53	76	2.38	5	0.16	3	0.09	16	0.50	-	-
愛媛県	951	15.59	8	0.22	43	1.16	713	19.27	130	3.51	7	0.19	2	0.05	33	0.89	-	-
高知県	355	7.24	2	0.06	12	0.39	342	11.03	80	2.58	1	0.03	-	-	24	0.77	-	-
福岡県	7016	35.43	41	0.34	210	1.75	914	7.62	388	3.23	1	0.01	55	0.46	113	0.94	-	-
佐賀県	1207	30.95	24	1.04	23	1.00	174	7.57	40	1.74	4	0.17	5	0.22	22	0.96	-	-
長崎県	1130	16.62	12	0.27	19	0.43	267	6.07	104	2.36	1	0.02	11	0.25	19	0.43	-	-
熊本県	1838	22.98	11	0.23	51	1.06	325	6.77	188	3.92	10	0.21	48	1.00	33	0.69	-	-
大分県	972	16.76	4	0.11	57	1.58	530	14.72	75	2.08	4	0.11	9	0.25	31	0.86	-	-
宮崎県	3205	53.42	5	0.14	64	1.73	478	12.92	91	2.46	2	0.05	7	0.19	38	1.03	-	-
鹿児島県	2852	30.67	23	0.41	26	0.46	413	7.38	146	2.61	13	0.23	14	0.25	26	0.46	-	-
沖縄県	705	12.16	1	0.03	29	0.85	52	1.53	83	2.44	-	-	-	-	11	0.32	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7	0.00	73	0.02	2	0.00	4746	1.56	16	0.02	542	0.84	6	0.01	5	0.01	111	0.24
北海道	-	-	1	0.01	-	-	182	1.25	-	-	14	0.47	-	-	-	-	1	0.05
青森県	1	0.02	-	-	-	-	40	0.95	-	-	4	0.36	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	11	0.29	-	-	21	0.55	-	-	15	1.25	-	-	-	-	8	0.40
宮城県	-	-	2	0.04	-	-	129	2.30	-	-	2	0.18	-	-	-	-	3	0.27
秋田県	-	-	-	-	-	-	9	0.26	1	0.14	6	0.86	-	-	-	-	8	1.00
山形県	-	-	1	0.03	-	-	92	3.07	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	121	2.52	-	-	14	1.17	-	-	-	-	11	1.57
茨城県	1	0.01	-	-	-	-	157	2.12	-	-	17	1.06	-	-	-	-	5	0.45
栃木県	-	-	-	-	-	-	22	0.48	-	-	6	0.50	-	-	-	-	3	0.43
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	98	1.61	-	-	28	2.00	-	-	-	-	7	0.78
埼玉県	1	0.01	5	0.03	1	0.01	257	1.59	1	0.03	23	0.58	-	-	-	-	3	0.33
千葉県	1	0.01	2	0.02	-	-	134	1.01	3	0.09	23	0.68	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	141	0.99	-	-	8	0.57	1	0.04	1	0.04	3	0.12
神奈川県	-	-	2	0.01	-	-	241	1.17	1	0.02	59	1.40	-	-	-	-	1	0.08
新潟県	-	-	-	-	-	-	59	0.95	-	-	7	0.70	-	-	1	0.08	2	0.17
富山県	-	-	2	0.07	-	-	79	2.72	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	113	3.90	-	-	7	1.00	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	29	1.32	-	-	7	2.33	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	32	1.28	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	-	-	-	-	259	4.71	-	-	17	1.42	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	-	-	-	-	44	0.83	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	3	0.03	-	-	172	2.00	-	-	10	0.50	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.01	3	0.02	-	-	223	1.23	1	0.03	22	0.63	1	0.08	-	-	7	0.54
三重県	-	-	2	0.04	-	-	63	1.40	-	-	6	0.50	-	-	-	-	3	0.33
滋賀県	-	-	-	-	-	-	24	0.75	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	87	1.16	-	-	8	0.44	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	-	-	3	0.02	-	-	180	0.91	3	0.06	32	0.62	1	0.07	-	-	9	0.64
兵庫県	-	-	2	0.02	-	-	118	0.93	-	-	24	0.69	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	2	0.06	-	-	59	1.69	-	-	5	0.56	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	74	2.39	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	89	4.68	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	1	0.04	2	0.09	-	-	67	2.91	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	-	-	1	0.02	73	1.35	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	6	1.20
広島県	-	-	1	0.01	-	-	168	2.33	2	0.11	19	1.00	-	-	-	-	2	0.10
山口県	-	-	2	0.04	-	-	129	2.63	1	0.11	10	1.11	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	-	-	-	-	41	1.78	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	55	1.72	1	0.33	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	62	1.68	-	-	17	2.13	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	2	0.06	-	-	14	0.45	-	-	1	0.33	1	0.14	-	-	3	0.43
福岡県	-	-	8	0.07	-	-	133	1.11	1	0.04	31	1.19	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	23	1.00	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	69	1.57	-	-	21	2.63	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	6	0.13	-	-	72	1.50	-	-	24	2.67	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	103	2.86	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	-	-	67	1.81	-	-	13	3.25	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	131	2.34	-	-	15	2.14	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	-	-	-	-	191	5.62	-	-	6	0.60	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成18年2週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	11	0.02	-	-	805
北海道	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	13
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	2
福島県	7	1.00	-	-	56
茨城県	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	9
千葉県	1	0.11	-	-	-
東京都	-	-	-	-	27
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	12
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	22
岐阜県	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	78
三重県	-	-	-	-	26
滋賀県	-	-	-	-	9
京都府	-	-	-	-	...
大阪府	-	-	-	-	85
兵庫県	-	-	-	-	98
奈良県	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	24
鳥取県	-	-	-	-	14
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	76
山口県	-	-	-	-	35
徳島県	-	-	-	-	18
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	16
高知県	-	-	-	-	24
福岡県	1	0.07	-	-	40
佐賀県	2	0.33	-	-	5
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	25
大分県	-	-	-	-	10
宮崎県	-	-	-	-	12
鹿児島県	-	-	-	-	19
沖縄県	-	-	-	-	8

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年2週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第8巻 第2号 平成18年1月27日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。